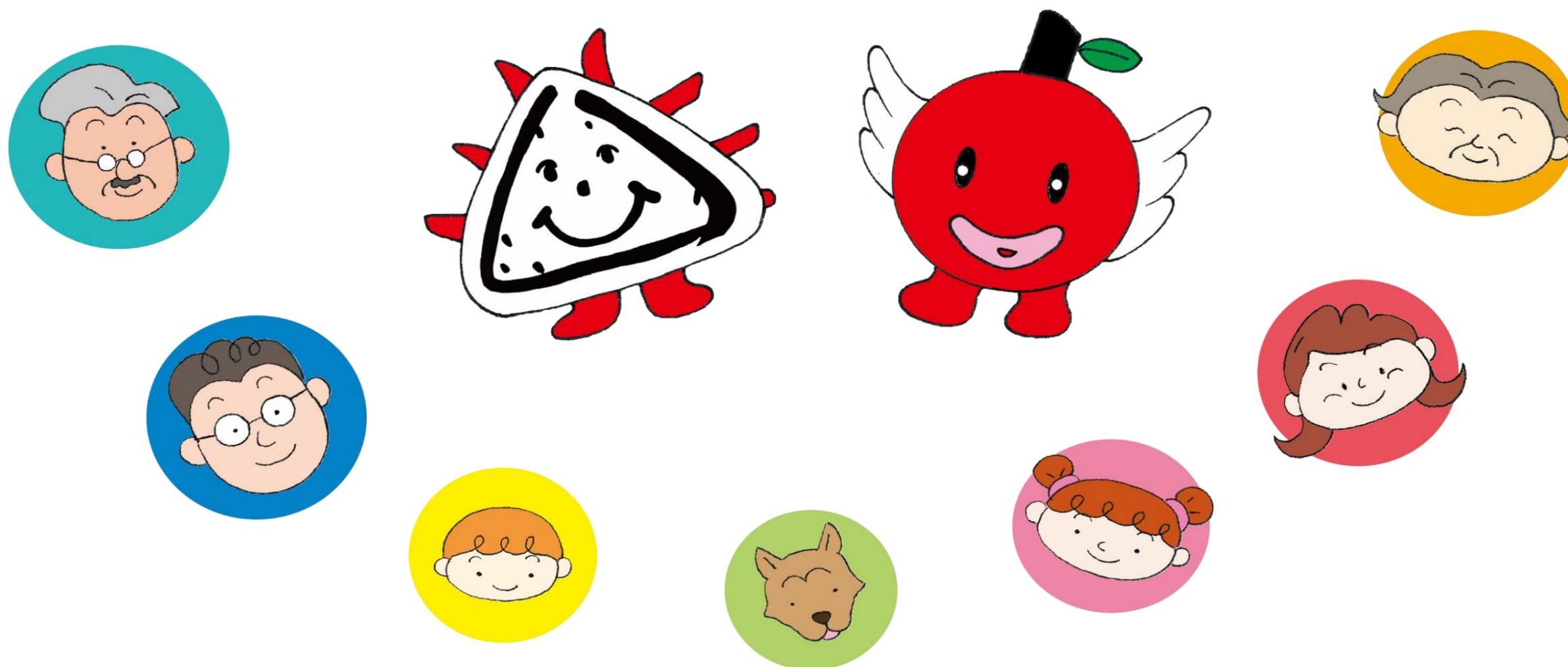


藤崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略

施策パッケージ【令和5年度実績および令和6年度目標】



藤 崎 町

1. 藤崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略施策パッケージについて

藤崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略施策パッケージは、令和2年度から令和6年度までの5年間を計画年度とする藤崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略に示した主要施策に基づき、具体的に実施する事業等を定めたものです。施策パッケージには、藤崎町総合計画基本計画（ふじさき未来・夢プラン）の実施計画（アクションプラン）に定めた事業や新規に実施する事業の中から、数値目標を設定でき、総合戦略の推進やKPI達成に有効と考えられる事業を掲載しており、PDCAサイクルにより効果検証することとします。

【KPI】 key performance indicator

重要業績評価指標。業績評価を定量的に評価する指標。達成目標に対し、どれだけの進歩があったかを明確にする指標であり、これをもとに進捗状況と業務改善を行う。

【PDCAサイクル】

事業の推進やリスクマネジメントを円滑に行う手法。Plan（計画）－Do（実行）－Check（確認）－Action（行動）の4段階の構成となっていることから、PDCAと称されている。

2. 施策パッケージの見方について

（1）担当課による目標設定および検証

- 重要業績評価指標KPI・・・事業の効果を検証する指標
- 目標値・・・年度内の事業展開により目指すべき評価指標の数値（年度内達成値または累計値）
- 実績値・・・年度末における評価指標の数値（年度内達成値または累計値）

- 達成度（事業効果）・・・目標値と実績値を比較し、判定基準により事業の効果を5段階で検証します。
 - A 地方創生に非常に効果的であった。（実績値が目標値に近い場合や上回った場合など）
 - B 地方創生に相当程度効果があった。（実績値が目標値の7割～8割程度の場合など）
 - C 地方創生に効果があった。（実績値（年度内達成値）が目標値を7割程度より下回っても、事業開始前よりも状況（累計値）が改善した場合など）
 - D 地方創生にあまり効果がなかった。（実績値（年度内達成値）が目標値を7割程度より下回り、事業開始前と状況（累計値）が同じ場合など）
 - E 地方創生に効果がなかった。（実績値が目標値を大きく下回り、事業開始前よりも状況が悪化した場合など）

- 今後の方針・・・事業効果を検証し、次年度以降の事業取組みの方針を決定します。また、その理由について詳細を記載します。
 - 1. 事業をさらに発展させる。
 - 2. 事業を継続する。
 - 3. 事業内容を見直す。
 - 4. 予定通り事業終了。
 - 5. 事業を中止する。

（2）藤崎町総合戦略会議による検証および評価

- 総合戦略会議事業評価・・・事業効果及び今後の方針を検証し、地方創生の推進に有効であるかを3段階で評価します。
 - A 総合戦略の推進に有効である。
 - B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効であると言える。
 - C 総合戦略の推進に有効とは言えない。

<基本目標1> 地域産業に魅力ある“しごと”を創生する

◆ 第1期指標

概要	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	R1	R2
地域資源を活かしながら、地域農業6次産業化、観光コンテンツ創出、産業強化、戦略的雇用支援等を推進し、地域に魅力あるしごとを創る。それにより、皆が地域に定着し、輝いて活躍できる基盤づくりを進める。	■経営体あたり農作物販売額	489万円 (H22)	現状より増加 (H32)	590万円 (RESAS)	—	—	—	—	770万円
	■観光入込客数	247,329人 (H26)	310,000人 (H32) ※5年で25%増加	265,670人 (観光入込客数調べ)	244,900人 (観光入込客数調べ)	211,323人 (観光入込客数調べ)	284,582人 (観光入込客数調べ)	292,777人 (観光入込客数調べ)	175,143人 (観光入込客数調べ)
	■食彩ときわ館利用者数	150,793人 (H26)	181,000人 (H32) ※5年で20%増加	152,767人	147,498人	109,521人	229,261人	207,032人	172,752人 (ふじさき食彩テラス利用者数調べ)

【参考値算出方法】 R1市町村別農業産出額（推計）661千万円 / 2020年農林業センサス市町村別経営体数（R1.12～R2.2末）857経営体 ≒ 771万円/経営体

◆ 第1期指標達成状況に対する総括

- ・経営体あたり農作物販売額は増加の見込となっており、戦略推進の効果が現れている。
- ・観光入込客数や食彩ときわ館（ふじさき食彩テラス）利用者数については平成30年度のふじさき食彩テラス整備を機に大幅に上昇した。食彩テラス利用者数は平成30年度、令和元年度に目標を達成し、観光入込客数も令和元年度には目標値に迫る勢いだったが、令和2年度はコロナ禍の特殊な事情によりどちらも目標値を大幅に下回った。
- ・総じて総合戦略の推進に有効性が見られるため、今後も感染症の動向に注視しながら、効果的な個別施策の継続発展を期待したい。

◆ 第2期指標

指標	当初	目標	R2	R3	R4	R5	R6
■経営体あたり農作物販売額	590万円 (H27)	現状より増加	770万円	—	—	—	—
■ふじさき食彩テラス利用者数	207,032人 (R1)	242,032人 ※5年で35,000人増加	172,752人	184,980人	204,683人	231,015人	—

(1) まちの未来を耕す農業の振興

◆ 第1期指標

オールふじさき！みんなでアクション！	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	R1	R2
藤崎ブランド農産物 みんなで発信！みんなで応援！	■新規就農者数	18人 (H26)	48人 (H32) ※5年で30人増加	24人 (新規就農者支援制度利用者数累計)	28人 (新規就農者支援制度利用者数累計)	34人 (新規就農者支援制度利用者数累計)	41人 (前年+認定新規就農者+人農地プラン掲載者)	43人 (前年+認定新規就農者+人農地プラン掲載者)	52人 (前年+認定新規就農者+人農地プラン掲載者)

◆ 第1期指標達成状況に対する総括

- ・新規就農者数は目標を達成しており、事業の効果が現れている。
- ・一方で地域産業の継続のためには、高齢者の離農に対する効果的な事業継承施策にも注力しつつ、今後も人数や経営面積数を維持していく必要がある。
- ・関係する補助制度や育成事業なども組み合わせ、町の基幹産業である農業の発展に向けたサポートを継続する。

◆ 第2期指標

指標	当初参考値	目標	R2	R3	R4	R5	R6
■新規就農者数	43人 (R1)	73人 ※5年間で30人増加	52人 (前年+認定新規就農者+人農地プラン掲載者)	54人 (前年+認定新規就農者+人農地プラン掲載者)	57人 (前年+認定新規就農者+人農地プラン掲載者)	65人 (前年+認定新規就農者+人農地プラン掲載者)	—

事業名		事業概要・取組内容				事業区分	年度	総合計画の目標		総合戦略の重要業績評価指標 KPI		目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価
総合計画分類: 1-1-(2) 地域6次産業化の推進 総合戦略分類: ①-(1) まちの未来を精進する農業の振興	ふじき食産業創造拠点運営事業 (旧ふじき食産業創造拠点整備事業)	【事業概要】 官民協働の地域商社を核として、農商工連携並びに特色ある地域間連携による町の魅力ある農産物等の地域資源を最大限に活用した「ふじき食」産業創造プロジェクトを立ち上げ、地域に魅力ある雇用を創出した。また、町の将来的な人口減少の抑制につなげることを目的に、プロジェクトを展開する地域商社の活動拠点となる「ふじき食産業創造拠点」を整備した。令和3年度以降はふじき食産業創造拠点との連携・支援を継続し売上金額及び利用者数の押し上げを目指す。 【取組内容】 ふじき食産業創造拠点の農産物加工、飲食、観光情報発信等の機能を拡充し、子育て家庭をターゲットにした事業展開を図る。				継続	R2	ふじき食産業創造拠点売上金額 22,900千円増 ふじき食産業創造拠点利用者数 8,000人増 新規雇用者数及び創業者数(累計値) 35人増	ふじき食産業創造拠点売上金額 ふじき食産業創造拠点利用者数 新規雇用者数及び創業者数(累計値)	272,700千円(22,900千円増) 189,000人(8,000人増) 115人(35人増)	193,669千円(5,436千円減) 172,752人(34,280人減) 123人(17人増)	C	3	A 総合戦略に有効		
						R4-R8	R3	ふじき食産業創造拠点売上金額 12,229千円増 ふじき食産業創造拠点利用者数 7,000人増	ふじき食産業創造拠点売上金額 ふじき食産業創造拠点利用者数	284,929千円(12,229千円増) 196,000人(7,000人増)	208,561千円(14,892千円増) 184,980人(12,228人増)	B	2	A 総合戦略に有効		
						ソフト	R4	ふじき食産業創造拠点売上金額 228,943千円 ふじき食産業創造拠点利用者数 203,478人	ふじき食産業創造拠点売上金額 ふじき食産業創造拠点利用者数	228,943千円 203,478人(前年比10%増)	236,265千円(27,704千円増) 204,683千円	A	2	A 総合戦略に有効		
						重点(活力)	R5	ふじき食産業創造拠点売上金額 252,029千円 ふじき食産業創造拠点利用者数 235,032人	ふじき食産業創造拠点売上金額 ふじき食産業創造拠点利用者数	252,029千円(23,086千円増) 235,032人	270,040千円(33,775千円増) 231,015人(26,332人増)	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効		
							R6	ふじき食産業創造拠点売上金額 264,289千円 ふじき食産業創造拠点利用者数 242,032人	ふじき食産業創造拠点売上金額 ふじき食産業創造拠点利用者数	264,289千円 242,032人						
							R7									
						事業費(千円)						【実績・効果】【今後の取組・方針等】(担当課)		庁内ヒアリング結果(経営戦略課)		総合計画審議会コメント
年度	前期基本計画		後期基本計画			※事業費は、ふじき食産業創造拠点施設指定管理料 【実績・効果】 売上金額・利用者数ともコロナ禍前と変わらない数値で前年度を上回り、目標を達成した。 R5の取組は以下のとおり。 ・りんご館専門店「ふじきまのりんごあめ」の継続 ・地域おこし協力隊との協働によるハロウィンイベント、バレンタインイベント等の実施 ・冬期間の「生妻みそこんたく」の販売 【今後の取組】 拠点施設の指定管理者である(株)ふじきファーマーズLABOが、売上金や町からの指定管理料等により、主体的に拠点施設を管理運営する。 令和3年度から事業名を「整備事業」から「運営事業」に変更し、ふじき食産業創造拠点の支援をして売上金額及び利用者数の押し上げを図っている。 ※売上金額KPI設定…事業者(テラス・スバクリ・土産コーナー)の営業計画利用者数KPI設定…町総合戦略基本目標1数値目標に準じる。 今後は、コロナ禍前と同様の集客が期待されることから、売上・利用者数増加の取組(ECサイト活用など)を積極的に行うとともに、SNS等でイベントの告知や農産物直売所の情報発信を強化し、地域経済を活性化させる。						総合戦略会議コメント		外部評価を受けた対応(担当課)		
	R2	R3	R4	R5	R6							総合戦略会議コメント		外部評価を受けた対応(担当課)		
事業費(千円)	0	0	3,694	3,926	3,998											
国・県支出金																
地方債																
その他																
一般財源			3,694	3,926	3,998											

事業名		事業概要・取組内容				事業区分	年度	総合計画の目標		総合戦略の重要業績評価指標 KPI		目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価
新しい食の魅力創生事業 (旧ふじさき産品開発育成事業)		【事業概要】 地域6次産業化を推進するため、地元農産物等を活用した新しいふじさき産品の開発や事業拡大の支援を行うとともに、既存の商工業者が販売している産品のブラッシュアップについてもアドバイスを行うなど、地域資源の磨き上げ及び開発育成を図る。 【取組内容】 若手農家等の地元農産物を活用した加工品の開発、お菓子など既存商品のブラッシュアップ等、地域産品を活用した事業経営の支援を行う。				継続	R2	ふじさき産品開発数 5品	ふじさき産品開発数	5品	5品	A	2	A 総合戦略に有効		
総合計画分類: 1-1-(2) 地域6次産業化の推進						R4-R8	R3	ふじさき産品開発数 5品	ふじさき産品開発数	5品	11品	A	1	A 総合戦略に有効		
						ソフト	R4	ふじさき産品(新ジャンル及び地域関連連携商品)開発数 6品	ふじさき産品(新ジャンル及び地域関連連携商品)開発数	6品	5品	B	2	A 総合戦略に有効		
総合戦略分類: ①-(1) まちの未来を精進する農家の振興						重点(活力)	R5	ふじさき産品(新ジャンル及び地域関連連携商品)開発数 6品	ふじさき産品(新ジャンル及び地域関連連携商品)開発数	6品	6品	A	2	A 総合戦略に有効		
		戦略推進係	R7	ふじさき産品(新ジャンル及び地域関連連携商品)開発数 6品	ふじさき産品(新ジャンル及び地域関連連携商品)開発数	6品										
事業費(千円)						【実績・効果】【今後の取組・方針等】(担当課)		市内ヒアリング結果(経営戦略課)		総合計画審議会コメント		総合戦略会議コメント		外部評価を受けた対応(担当課)		
年度	前期基本計画		後期基本計画			※事業費は、地方創生交付金事業計画のソフト事業3、青森きくらげ等の施設園芸農産物を活用した新たな食の魅力創生事業費の計 【実績・効果】 地元農産物を使用した商品の開発や既存商品のブラッシュアップなど、ふじさき産品の開発育成支援により、地域の稼ぐ力の強化につながった。 ・開発商品(ドレッシングは「D」表記、H29以前は8商品開発) H30(11商品): ミニマトと豆乳D、ドライマト、りんごフレッシュマスタードD、生姜みそD、恋する乙女ハイ、にんじん30D、ごぼう30D、青森県産「ふじ」セミドライりんごのあめっこ、りんごジャムディップ、マイヤーレモンとりんごのジャム、りんごコンポートゼリー寄せ R1(8商品): ロースト大豆×3(プレーン・ミックス・キャラメリゼ)、干し野菜のピクルス、林檎の御茶、大豆ポン、恋する乙女パウンド、黒ニンニク R2(5商品): ビーマンみそ、ふじさきSCONE、Pomus、カクテキできた!、黒にんにくラテせんべい R3(12商品): ビーマンクレーミーD、プチラド、りんご地「サイダー」はちみつ、きんばあちゃんのみそ玉、ミニマトソース、ミニマトクチャップ、SOYナッツ(菜油+梅とかつお)、トマトみそ2品(ホットチリ+、ガーリック+)、完熟ミニマトD、ねぎ塩しもんど、アスパラチップス R4(5商品)マイヤーレモンとりんご(セミドライスタイル)、セミドライアップル(コメント)、生干しいも、青森りんごクラフトコーラ、Applejuice食物繊維Plus R5(6商品) 桜なんぼん、紅玉1800、RINGO BAR、乾燥きくらげ、金魚ねぶたサイダー、わん! プチ 目標値を達成し、新素材や新たなジャンル(ペット向け)の商品開発が出来た。 【今後の取組・方針】 引き続きこれまでの地元農家、事業者の新商品開発支援に加え、新ジャンル(チャレンジファーム作物を使用した加工品や機能性表示食品等)商品の開発、自社ブランド強化支援、地域関連連携商品開発、開発済み商品のフォローアップを行い、地域の稼ぐ力をさらに向上させる。 今後は、開発済み商品も含めて、販路の開拓・拡大に取り組んでいきたい。										
	R2	R3	R4	R5	R6											
事業費(千円)	2,774	2,590	11,227	10,964	10,606											
国・県支出金	1,387	1,295	5,613	5,482	5,303											
地方債																
その他																
一般財源	1,387	1,295	5,614	5,482	5,303											
<p>(事務局) 商品開発数から、開発した商品の販売金額(経営戦略課戦略推進係) 食品加工や商品開発の知識を持ち、実践できる人材の育成が目的の事業であるため、商品の販売金額を指標に設定することは事業の進捗から推測し、変更するとまた新しい展開が期待できるので、先生方の意見が強く、参加者の希望が通りくいような雰囲気を感じる。セドルを開発したことがあった。</p> <p>(洗湖石委員) 食品加工から、商品の企画・開発まで幅広くアドバイスできるアドバイザーや、食品表示の知識のあるデザイナーは県内にはほとんどおらず、替わる人を見つけるのが難しい現状があります。今後の事業の見直しの際に検討します。また、商品開発の第一歩として、ドレッシングは比較的取り組みやすいということからという意図もあったかとは思いますが、頂いたご意見は今後の事業の参考とさせていただきます。</p>																

事業名		事業概要・取組内容				事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
藤崎町認定農業者事業		【事業の概要】 藤崎町認定農業者協議会に補助し、会員の資質向上を図るため、認定農業者研修や先進地視察研修等を通じて担い手の育成、技術の向上及び確保を目指す。認定を受けることで交付金等の制度を活用できる。令和8年度目標:認定農業者数224人 【取組内容】 認定農業者の営農技術向上・知識習得を通じて、担い手の育成を図る。				継続	R2	認定農業者数を248経営体とする。	認定農業者数	248人	212人(1,396ha)	B	2	B 総合戦略にわずかが有効	
総合計画分類: 1-1-(3) 将来の担い手の育成・支援体制の整備						R4-R8	R3	認定農業者数を224経営体とする。	認定農業者数、経営面積	224人(1,410ha)	211人(1,387ha)	B	2	B 総合戦略にわずかが有効	
						ソフト	R4	認定農業者数を224経営体とする。	認定農業者数、経営面積	224人(1,410ha)	186人(1,222ha)	C	2	B 総合戦略にわずかが有効	
総合戦略分類: ①-(1) まちの未来を精進する農業者の振興						農政係	R5	認定農業者数を224経営体とする。	認定農業者数、経営面積	224人(1,410ha)	181人(1,065ha)	C	2	B 総合戦略にわずかが有効	
							R6	認定農業者数を224経営体とする。	認定農業者数、経営面積	224人(1,410ha)					
							R7								
事業費(千円)						【実績・効果】【今後の取組・方針等】(担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)			
年度	前期基本計画			後期基本計画			【実績・効果】 R5年度末現在181経営体 R5年度末現在181経営体 ・計画していた視察研修は参加者不足により開催することができなかった。しかし、これまで新型コロナウイルス感染症の影響で開催できなかった講習会は、予定通り実施することができた。 【今後の取組・方針】 ・高齢化による担い手農業者減少に対応するため、後継者への経営継承による認定継続を促すと共に認定新規就業者や基盤到達者で未認定の者に対する認定農業者への誘導を積極的に実施する。 ・R5年度中は更新を迎えた対象者が更新を希望しなかった経営体もあったが、後継者に経営移譲した世帯に対し認定継続について積極的に声をかけた結果、前年度が30名減であったところ、R5年度に関しては5名減少に抑えることができた。 ・R6年度は新規就業者の認定移行について声をかけていく。	認定農業者数が5人減少しているが、5人とも更新時期に更新しなかった農業者であった。 更新に必要な計画の作成を面倒に感じているためか、内容が似ている中心経営体事業の方に人が流れてしまっている印象。	(審議会) 指標に中心経営体を加えることは考えられないか。 (農政課) 指標は計画後半の途中における指標の変更は想定しておりませんが、次期計画に向けた助言であれば、事業内容等を含め、今後検討いたします。						
	R2	R3	R4	R5	R6										
事業費(千円)	200	200	200	100	100										
国・県支出金															
地方債															
その他															
一般財源	200	200	200	100	100										

事業名		事業概要・取組内容				事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価
県りんご産業基幹青年養成事業		【事業の概要】 県りんご協会が実施しているりんご農家の後継者対象の研修会に派遣し、りんご生産者の育成とりんご産業の発展を図る。研修期間2年(2名) 【取組内容】 地域振興活動の中核的役割を果たすりんご産業基幹青年を育成する。				継続	R2	3名の養成を委託する。(1年目)	りんご産業基幹青年養成者数	3人	1人	C	2	B 総合戦略にわずかが有効
総合計画分類: 1-1-(3) 将来の担い手の育成・支援体制の整備						R4-R8	R3	3名の養成を委託する。(2年目)	りんご産業基幹青年養成者数	1人	1人	A	2	B 総合戦略にわずかが有効
						ソフト	R4	3名の養成を委託する。(1年目)	りんご産業基幹青年養成者数	3人	2人	B	2	B 総合戦略にわずかが有効
総合戦略分類: ①-(1) まちの未来を精進する農業者の振興						農政係	R5	3名の養成を委託する。(2年目)	りんご産業基幹青年養成者数	2人	1人	B	2	B 総合戦略にわずかが有効
							R6	2名の養成を委託する。(1年目)	りんご産業基幹青年養成者数	2人				
							R7							
事業費(千円)						【実績・効果】【今後の取組・方針等】(担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)		
年度	前期基本計画			後期基本計画			【実績・効果】 R2県りんご産業基幹青年養成委託1名、R3研修期間2年終了。 R4県りんご産業基幹青年養成委託2名、R5研修期間2年終了。(1名は本人都合により途中で辞退) R6県りんご産業基幹青年養成委託2名、R7研修期間2年終了予定。 【今後の取組・方針】 若手りんご生産者育成のため、今後も養成委託を継続する。現在はその成果を共有するための仕組み等がない状況であるため、今後は既存の町事業等への活用などを検討する。	研修を受講してすぐに成果を共有するのは難しいが、実際に自分で実践してみても、何年後に成果を共有しているケースはある。						
	R2	R3	R4	R5	R6									
事業費(千円)	187	187	374	374	484									
国・県支出金														
地方債														
その他														
一般財源	187	187	374	374	484									

事業名		事業概要・取組内容				事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価
りんご病害虫マスター養成事業		【事業の概要】 県りんご協会が実施している病害虫の生態・防除等の研修会に派遣し、りんご病害虫の発生予防から防除までの基礎知識及び応用技術を習得し、地域で活躍できる農業に精通した人材の育成を図る。研修期間1年(2名) 【取組内容】 地域で活躍できる農業に精通した人材を育成する。				継続	R2	2名の養成を委託する。	りんご病害虫マスター養成者数	2人	2人	A	2	A 総合戦略に有効
総合計画分類: 1-1-(3) 将来の担い手の育成・支援体制の整備						R4-R8	R3	2名の養成を委託する。	りんご病害虫マスター養成者数	2人	2人	A	2	A 総合戦略に有効
						ソフト	R4	2名の養成を委託する。	りんご病害虫マスター養成者数	2人	1人	B	2	A 総合戦略に有効
総合戦略分類: ①-(1) まちの未来を精進する農業者の振興						農政係	R5	2名の養成を委託する。	りんご病害虫マスター養成者数	2人	2人	A	2	A 総合戦略に有効
							R6	1名の養成を委託する。	りんご病害虫マスター養成者数	1人				
							R7							
事業費(千円)						【実績・効果】【今後の取組・方針等】(担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)		
年度	前期基本計画			後期基本計画			【実績・効果】 県りんご病害虫マスター養成委託1名 【今後の取組・方針】 りんご病害虫防除の熟練者育成のため、今後も養成委託を継続する。現在はその成果を共有するための仕組み等がない状況であるため、今後は既存の町事業等への活用などを検討する。							
	R2	R3	R4	R5	R6									
事業費(千円)	165	165	83	165	83									
国・県支出金														
地方債														
その他														
一般財源	165	165	83	165	83									

(2) 魅力あふれる観光の創出

◆ 第1期指標

オールふじさき！みんなでアクション！	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	R1	R2
まちを歩き まちを知る 好奇心でまち再発見！	■観光ウェブサイト利用者数	サイト開設 (H27)	500人 (H32) ※5年で500人増加	0人 (年度末開設)	14,574人	29,822人	48,121人	53,951人	42,052人
※これまでの指標「観光ウェブサイト利用者数」を、より目標に近い指標「観光入込客数」に置き換える	■観光入込客数	247,329人 (H26)	310,000人 (H32) ※5年で25%増加	265,670人 (観光入込客数調べ)	244,900人 (観光入込客数調べ)	211,323人 (観光入込客数調べ)	284,582人 (観光入込客数調べ)	292,777人 (観光入込客数調べ)	175,143人 (観光入込客数調べ)

◆ 第1期指標達成状況に対する総括

・観光ウェブサイトの開設後に一定の利用者があることから、事業の効果として評価できる。
 ・令和2年度にはコロナ禍の影響を受けて数値が大幅な減となっているので、状況回復後の反転攻勢に向けて、現在の施策を慎重かつ確実に継続する必要がある。

◆ 第2期指標

指標	当初	目標	R2	R3	R4	R5	R6
■観光入込客数	292,777人 (R1)	324,982人 ※5年で11%増加	175,143人 (観光入込客数調べ)	182,893人 (観光入込客数調べ)	197,031人 (観光入込客数調べ)	285,015人 (観光入込客数調べ)	

事業名		事業概要・取組内容				事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価
1	観光ウェブサイト「ふじさんぼ」及び関連SNS運用事業 総合計画分類: 4-5-(4) 専用ウェブサイト及びSNSの活用 総合戦略分類: ①-(2) 魅力あふれる観光の創出	観光情報の提供に特化したウェブサイト「ふじさんぼ」と当該フェイスブックの運用により、イベントやご当地キャラクターの活動、特産品の情報を積極的に発信し、閲覧者の来町したい気持ちを芽生えさせ、また閲覧者からのコメントやイベント参加者の記事を掲載することで、観光人材として関わりを持てる人物の発掘など、サイト等を通して町への興味と参加・交流の輪を広げ、観光人材育成へのつながりを図る。				継続	R2	サイトアクセス数(フェイスブックへの「いいね」含む) 前年比10%増とする。	サイトアクセス数(Facebook「ふじさんぼ」の「いいね!」数含む)	59,346	42,052	C	2	B 総合戦略にわずかだが有効
						R4-R8	R3	サイトアクセス数(フェイスブックへの「いいね」含む) 前年比10%増とする。	サイトアクセス数(Facebook「ふじさんぼ」の「いいね!」数含む)	46,257	55,340	A	1	A 総合戦略に有効
						ソフト	R4	サイトアクセス数(フェイスブックへの「いいね」含む) 前年比10%増とする。	サイトアクセス数(Facebook「ふじさんぼ」の「いいね!」数含む)	60,874	67,799	A	1	A 総合戦略に有効
						重点(活力)	R5	サイトアクセス数(フェイスブックへの「いいね」含む) 前年比10%増とする。	サイトアクセス数(Facebook「ふじさんぼ」の「いいね!」数含む)	74,578	90,085	A	2	B 総合戦略にわずかだが有効
							R6	サイトアクセス数(フェイスブックへの「いいね」含む) 前年比10%増とする。	サイトアクセス数(Facebook「ふじさんぼ」の「いいね!」数含む)	99,093				
						企画調整係	R7							
						事業費(千円)						【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)		庁内ヒアリング結果(経営戦略課)
年度	前期基本計画		後期基本計画			平成28年度運用開始。 【実績・効果】 町の観光情報の発信に効果的である。 R4年度のアクセス数は前年度実績と比較し約22%程増加した。 (R2年度からYouTubeで動画配信開始) 【今後の取組・方針等】 イベントの事前告知、中止などよりの確な発信に努める。引き続き、興味を引く、魅力あるページづくりと効果的な情報発信に取り組む。								
事業費(千円)	264	264	264	264	304									
国・県支出金														
地方債														
その他														
一般財源	264	264	264	264	304									

事業名		事業概要・取組内容				事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価
2	ふじさき秋まつり事業 総合計画分類: 1-4-(1) 魅力あふれる観光コンテンツの創出 総合戦略分類: ①-(2) 魅力あふれる観光の創出	町の産業振興・芸術文化の向上・健康増進を目的に、町民力を結集し、交流を深め、町のPRをする。				継続	R2	新たな取組を実施しながら、町の魅力を発信、町民力の結集を図る。	町民力結集の新たな取組件数	3件	0件	E	2	B 総合戦略にわずかだが有効
						R4-R8	R3	新たな取組を実施しながら、町の魅力を発信、町民力の結集を図る。	町民力結集の新たな取組件数	3件			B 総合戦略にわずかだが有効	
						ソフト	R4	新たな取組を実施しながら、町の魅力を発信、町民力の結集を図る。	町民力結集の新たな取組件数	3件	2件	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効
						重点(活力)	R5	新たな取組を実施しながら、町の魅力を発信、町民力の結集を図る。	町民力結集の新たな取組件数	3件	3件	A	2	A 総合戦略に有効
							R6	新たな取組を実施しながら、町の魅力を発信、町民力の結集を図る。	町民力結集の新たな取組件数	3件				
						企画調整係	R7							
						事業費(千円)						【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)		庁内ヒアリング結果(経営戦略課)
年度	前期基本計画		後期基本計画			※事業費はまつり実行委員会補助金 【実績・効果】 R5年度の新たな取組としては、 ①学生ボランティアの復活 ②なぎなた体験コーナー開設 ③リサイクルブックフェア新設 【今後の取組・方針等】 まつり実行委員会やチームリーダー会議、参加者等の意見も取り入れ、既存事業の継続の可否や効果を検証しながら新たな取組を検討する。								
事業費(千円)	204	6,218	5,734	6,249	6,249									
国・県支出金			3,822											
地方債														
その他	204	6,218		6,249	6,249									
一般財源			1,912											

事業名		事業概要・取組内容				事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価
3	町の魅力発信事業 総合計画分類: 1-4-(2) 観光情報の発信強化 総合戦略分類: ①-(2) 魅力あふれる観光の創出	町の魅力を広く情報発信するため、ご当地キャラクターを活用したグッズ製作・配布やキャラクターのイベント参加、特産品販売委託への報賞を行う。				継続	R2	町内での活動件数10件	町内での新たな催しへの参加件数	1件	1件	A	2	A 総合戦略に有効
						R4-R8	R3	町内での活動件数5件	町内での活動件数	5件	8件	A	2	A 総合戦略に有効
						ソフト	R4	町内での活動件数5件	町内での活動件数	5件	4件	B	2	A 総合戦略に有効
							R5	町内での活動件数5件	町内での活動件数	5件	10件	A	2	A 総合戦略に有効
							R6	町内での活動件数10件	町内での活動件数	10件				
						企画調整係	R7							
						事業費(千円)						【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)		庁内ヒアリング結果(経営戦略課)
年度	前期基本計画		後期基本計画			事業費は、町内の魅力補助金2,000,000円による 【実績・効果】 R5年度実績: 10件(ふじワングランプリ1、秋まつり1、赤い羽根協同募金PR1、幼児交通安全教室7) 【今後の取組・方針等】 キャラクター活動は、原則町内とし、内容や必要に応じて圏域、県外で出演する。 知名度も高いので、キャラによる町の情報発信に努める。 イベントのノベルティについても参加者のニーズに合ったものを制作していく。								
事業費(千円)	2,050	1,850	2,172	2,032	2,085									
国・県支出金														
地方債														
その他	2,000	1,800	2,000	2,000	2,000									
一般財源	50	50	172	32	85									

事業名		事業概要・取組内容				事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価
まちあるき実施事業 総合計画分類: 1-4-(1) 魅力あふれる観光コンテンツの創出 総合戦略分類: ①-(2) 魅力あふれる観光の創出		まちあるきガイドによる「まちあるき」を行うことで、町の魅力を再発見・再認識し、町への愛着や郷土への誇りを醸成するとともに、観光ボランティアなど観光人材の育成と観光推進体制の強化を図る。また、地域の人との交流や町特産品の飲食を通じ、町のファンづくりを行い、交流人口の増加を図る。				新規	R2	魅力あるまちあるきコースの設定と参加増を図る。	観光ボランティアガイド数	4人	5人	A	2	A 総合戦略に有効
						R4-R8	R3	新たなあるまちあるきコースの設定と他事業との連携を図る。	観光ボランティアガイド数	6人	8人	A	2	A 総合戦略に有効
						ソフト	R4	新たなあるまちあるきコースの設定と他事業との連携を図る。	観光ボランティアガイド数	6人	10人	A	2	A 総合戦略に有効
							R5	新たなあるまちあるきコースの設定と他事業との連携を図る。	観光ボランティアガイド数	12人	11人	A	2	B 総合戦略にわずかだが有効
							R6	新たなあるまちあるきコースの設定と他事業との連携を図る。	観光ボランティアガイド数	12人				
						企画調整係	R7							
事業費(千円)						【実績・効果】【今後の取組・方針等】(担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)		
年度	前期基本計画		後期基本計画			事業費は、まちあるき推進実行委員会補助金(125千円)とまちあるき実施委託料(33千円) 【実績・効果】 R5.5 りんご農家のおいしい休日春ver(参加者:20名) R5.9 りんご農家のおいしい休日秋ver(参加者:5名) ※参考:ふじさんぼの会(会員11名) 【今後の取組・方針等】 リンゴカとふじ原木公園周辺のまちあるきコースを創り、観光客が各自で周遊できるようマップを制作する。併せて、まちあるきガイドの活動内容の周知を強化し、メンバーを増やしていきたい。								
	R2	R3	R4	R5	R6									
事業費(千円)	191	191	158	158	158									
国・県支出金	44	44	22	22	0									
地方債														
その他														
一般財源	147	147	136	136	158									
(浅瀬石委員) 観光客に町の良さ・りんごの素晴らしさを感じてほしいが、参加者が少ないうえに、原木公園のりんご園はお客様に見せられる畑ではない。場所を変えて行うことも検討できないか？町のイメージダウンにもつながる。 (幸田委員) 原木公園の存在や場所も知らない方もいるので、リンゴカも含めて周知に向けた活動をする必要がある。また、今年東屋を建てる予定があったり、花壇の整備を進めたりと、原木公園が良い場所になるよう努めているところなので、継続していきたい。														

事業名		事業概要・取組内容				事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価
ふじさき産品PRプロモーション事業 総合計画分類: 1-4-(2) 観光情報の発信強化 総合戦略分類: ①-(2) 魅力あふれる観光の創出		【事業概要】 地元農産物を活用した加工品や既存の地場産品等のPRプロモーションを強化するために、観光ウェブサイトと連動した、ふじさき産品のウェブサイト制作やトータルな魅力を発信するためのPRデザインを作成し、ふじさき産品を発信することで、観光交流人口を増やす。 【取組内容】 ふじさき産品のウェブサイト開設・運営等により、PRプロモーションを強化する。				継続	R2	ふじさき産品ウェブサイトアクセス数前年比増	ふじさき産品ウェブサイトアクセス数	前年より増	13,267件	A	2	A 総合戦略に有効
						R4-R8	R3	ふじさき産品ウェブサイトアクセス数前年比増	ふじさき産品ウェブサイトアクセス数	前年より増	12,561件	A	2	B 総合戦略にわずかだが有効
						ソフト	R4	ふじさき産品ウェブサイトアクセス数前年比増	ふじさき産品ウェブサイトアクセス数	前年より増	14,774件	A	2	B 総合戦略にわずかだが有効
						重点(活力)	R5	ふじさき産品ウェブサイトアクセス数前年比増	ふじさき産品ウェブサイトアクセス数	前年より増	15,128件	A	2	A 総合戦略に有効
							R6	ふじさき産品ウェブサイトアクセス数前年比増	ふじさき産品ウェブサイトアクセス数	前年より増				
						戦略推進係	R7							
事業費(千円)						【実績・効果】【今後の取組・方針等】(担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)		
年度	前期基本計画		後期基本計画			※R4年度から事業費として食彩テラス指定管理料を計上(この中で当事業運営) 【実績・効果】 ふじさき食彩テラスを拠点にウェブサイト等でふじさき産品の魅力を発信し、ふじさき産品のPR体制の強化を図ることができた。 【今後の取組・方針等】 今後もふじさき食彩テラスを拠点に、ふじさき産品PRプロモーション事業を展開し、藤崎町の農産物・グルメ・観光を発信する。								
	R2	R3	R4	R5	R6									
事業費(千円)	1,135	950	3,694	3,926	3,998									
国・県支出金	567	475												
地方債														
その他														
一般財源	568	475	3,694	3,926	3,998									

(3) 活力ある地域産業の強化

◆ 第1期指標

オールふじさき！みんなでアクション！	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	R1	R2
町内の買い物で みんなが縁（円）でつながります！	■誘致企業数	12社 (H26)	15社 (H32) ※5年で3社増加	12社	12社	12社	12社	12社	12社

◆ 第1期指標達成状況に対する総括

- ・誘致企業数は5年間で変化はなく、政策分野の成果が見られない。
- ・企業誘致に向け現状確認と課題整理をしっかりと行って、関係機関と手を組んで取組を見直してもらいたい。
- ・今後はコロナ禍により東京一極集中を避ける企業が増えると考えられるため、そういった企業に対して町のメリットをきちんと伝えるようにしたい。

◆ 第2期指標

指標	当初	目標	R2	R3	R4	R5	R6
■新規立地企業数 (従業員21人以上の製造業その他 または 従業員6人以上の卸売業・小売業・ サービス業)	12社 (R1)	15社 ※5年で3社増加	12社	12社	11社	11社	

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価		
商品券発行補助事業	町商工会が実施する商品券発行事業に対し、一部事務費分の補助を行い、町商工会者の販売意欲の向上と地元商店の利用促進を図る。	継続	R2	地元業者での商品券利用率を50%以上とする。	地元業者での商品券利用率	50%	27.91%	D	4	B 総合戦略にわずかだが有効		
		R4-R8	R3	地元業者での商品券利用率を50%以上とする。	地元業者での商品券利用率				3			
		ソフト	R4	地元業者での商品券利用率を50%以上とする。	地元業者での商品券利用率	50%	29.40%	C	4	B 総合戦略にわずかだが有効		
			R5	地元業者での商品券利用率を50%以上とする。	地元業者での商品券利用率	50%	23.40%	C	4	B 総合戦略にわずかだが有効		
			R6	地元業者での商品券利用率を50%以上とする。	地元業者での商品券利用率	50%						
総合計画分類: 1-3-(1) 地域経済の活性化創出												
総合戦略分類: ①-(3) 活力ある地域産業の強化		企画調整係	R7									
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント		総合戦略会議コメント		外部評価を受けた対応(担当課)		
年度	前期基本計画	後期基本計画			【実績・効果】 R5年度は、エネルギー・食料品価格等の物価高騰による町民生活の負担を軽減するための経済的支援と、町内の消費拡大による経済活性化の支援を図るため、町民1人当たり5,000円の「ふじさき生活応援商品券」を7月に第1弾、12月に第2弾の計2回実施した。地元業者への利用率は23.40%であるが、消費喚起の効果はかなり効果があったものとする。 【今後の取組・方針等】 令和6年度は、現時点で商品券事業の予定はないが、今後の国による経済対策の動向によっては商品券事業の検討を行う可能性がある。			(藤崎委員) 国からの交付金・補助金等に基づいて実施する事業とのことだが、事業を行う際には、地元での利用率が高まるように何か工夫してほしい。 (経営戦略課企画調整係) 現時点で令和6年度中の事業実施予定はないが、町内で商品券を利用してもらえるような工夫を考え、次回事業に備えたい。				
事業費(千円)	37,434	0	37,680	158,138								0
国・県支出金	37,434	0	37,680	125,919								0
地方債												
その他												
一般財源	0	0	0	32,219	0							

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価		
商工会運営費補助事業	町商工会者の経営基盤安定強化と、地域産業振興発展のため、町商工会に運営費補助を行い、商店街の活性化及び地元商店の利用促進を図る。	継続	R2	商工会への運営補助を通じ、商店街自主事業を3事業実施する。	商店街自主事業	3事業	-	E	3	C 総合戦略に有効でない		
		R4-R8	R3	商工会への運営補助を通じ、商店街自主事業を3事業実施する。	商店街自主事業	3事業	1事業	D	3	B 総合戦略にわずかだが有効		
		ソフト	R4	商工会への運営補助を通じ、商店街自主事業を3事業実施する。	商店街自主事業	3事業	1事業	D	3	B 総合戦略にわずかだが有効		
			R5	商工会への運営補助を通じ、商店街自主事業を3事業実施する。	商店街自主事業	3事業	1事業	D	3	B 総合戦略にわずかだが有効		
			R6	商工会への運営補助を通じ、商店街自主事業を3事業実施する。	商店街自主事業	3事業						
総合計画分類: 1-3-(1) 地域経済の活性化創出		企画調整係	R7									
総合戦略分類: ①-(3) 活力ある地域産業の強化		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント		総合戦略会議コメント		外部評価を受けた対応(担当課)		
年度	前期基本計画	後期基本計画			事業費は、運営補助(6,850千円)。 【実績・効果】 商店街自主事業として、常盤さくらを観る会を新型コロナウイルス感染症拡大防止によりライトアップのみで実施した。(常盤駅前買い物広場) ※補助金の内訳は、運営補助(5,400千円)とねぶた合同運行補助(1,450千円) 【今後の取組・方針等】 自主事業実施に向けた商店街の機運醸成に必要な新たな取組の検討が必要であり、商店街の継続と活性化に向けて、町、商工会、事業者が一体となって取り組むことが必要。							
事業費(千円)	5,600	7,100	5,600	6,850								7,500
国・県支出金												
地方債												
その他												
一般財源	5,600	7,100	5,600	6,850	7,500							

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価		
ふじワングランプリ事業	町特産品を活用したオリジナルメニューの開発を通じ、地域資源や観光資源の魅力を向上させ、オリジナルメニューを集めた食のイベントを開催することで、集客及び外貨獲得を図る。 オリジナルメニューの継続販売や地域での認知普及、店舗への誘客により、更なる地域経済の活性化と交流人口の増加を図る。	継続	R2	イベント活性化に向け、新たな取組を1つ実施する	エントリーメニュー400食完売店舗の割合	100パーセント	-	E	2	C 総合戦略に有効でない		
		R4-R8	R3									
		ソフト	R4	イベント活性化に向けた新たな取組を企画し実施する(コロナ対応)	エントリーメニュー200食完売店舗の割合	100パーセント	44パーセント	C	2	B 総合戦略にわずかだが有効		
		重点(活力)	R5	イベント活性化に向けた新たな取組を企画し実施する	エントリーメニュー400食完売店舗の割合	100パーセント	87パーセント	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効		
			R6	イベント活性化に向けた新たな取組を企画し実施する	エントリーメニュー食完売店舗の割合	100パーセント						
総合計画分類: 1-4-(1) 魅力あふれる観光コンテンツの創出		企画調整係	R7									
総合戦略分類: ①-(3) 活力ある地域産業の強化		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント		総合戦略会議コメント		外部評価を受けた対応(担当課)		
年度	前期基本計画	後期基本計画			【実績・効果】 R5年度は、コロナ禍後初めて制限なしの形式(ステージイベント、飲食スペース設置等)でイベントを実施した。来場者は約6,000人でコロナ禍前の盛り上がり復活したように感じた。 完売店舗は8店舗中7店舗 【今後の取組・方針等】 R6年度は出店者を公募し、令和5年度の8店舗を上回る店舗数を確保し昨年以上にイベントを盛り上げる。							
事業費(千円)	3,438	3,428	3,671	3,791								3,774
国・県支出金												
地方債												
その他	3,438	3,428	3,671	3,791								3,774
一般財源												

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価		
ふじめぐり総選挙事業	ふじめぐり総選挙(旧・スタンラリー実施事業)では、併せて町内飲食業者向けのセミナーを実施し、業者の経営意識の向上や業者間の連携強化、おもてなしの誘客意識の醸成を図る。	継続	R2	参加者数を(前年比25%増)とする。	参加者 前年比25%増	221人	521人	A	2	A 総合戦略に有効		
		R4-R8	R3	参加者数を(前年比25%増)とする。	参加者 前年比25%増	651人	1,121人	A	2	A 総合戦略に有効		
		ソフト	R4	参加者数を(前年比25%増)とする。	参加者 前年比25%増	1,401人	1,359人	B	2	A 総合戦略に有効		
		重点(活力)	R5	参加者数を(前年比25%増)とする。	参加者 前年比25%増	1,698人	2,600人	A	2	A 総合戦略に有効		
			R6	参加者数を(前年比25%増)とする。	参加者 前年比25%増	3,250人						
		企画調整係	R7									
総合計画分類:	1-3-(2)「食」によるにぎわいの創出											
総合戦略分類:	①-(3) 活力ある地域産業の強化											
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント		総合戦略会議コメント		外部評価を受けた対応(担当課)		
年度	前期基本計画	後期基本計画				【実績・効果】 参加者:2,600人(前年比1,241人増) 参加店舗:64店舗(前年比11店舗増) 参加者が前年度の約2倍に増加し、町外の参加者も大幅に増加していることから、本事業が町内外を問わず広域的に定着していることが実感できた。また、店舗及び町のPRや商工業振興にもかなり効果的であったと考えられる。 【今後の取組・方針等】 令和6年度は賞品等の事業内容を見直し今まで以上に参加者・参加店舗に魅力的な事業にするとともに、未だ参加していない町内店舗へ参加を呼びかけ参加店舗の増を図る。また、情報発信をメディア、情報誌、SNS、ラジオ広告と様々な方法でPRし、参加店舗にも商品のPRやリピーター獲得のため、イベントコラボの特典などの検討を促していきたい。	庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント		総合戦略会議コメント		外部評価を受けた対応(担当課)
	R2	R3	R4	R5	R6							
事業費(千円)	4,433	5,104	5,195	5,146	5,930							
国・県支出金	2,955	3,402	2,598	3,430	5,000							
地方債												
その他												
一般財源	1,478	1,702	2,597	2,716	930							

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価		
企業誘致支援事業	企業誘致での雇用の場の確保・拡充 企業に対し誘致活動をこれまで以上に展開し地元雇用の場の確保・拡充を図る。 事業費は、県企業誘致促進協議会の負担金である。	継続	R2	工業団地情報について周知し相談体制を強化する。	相談件数	3件	1件	B	2	B 総合戦略にわずかに有効		
		R4-R8	R3	工業団地情報について周知し相談体制を強化する。	相談件数	3件	2件	B	2	A 総合戦略に有効		
		ソフト	R4	工業団地情報の周知・相談体制を強化し企業誘致につなげる。	相談件数	3件	2件	B	2	A 総合戦略に有効		
			R5	工業団地情報の周知・相談体制を強化し企業誘致につなげる。	相談件数	3件	2件	B	2	A 総合戦略に有効		
			R6	工業団地情報の周知・相談体制を強化し企業誘致につなげる。	相談件数	3件						
		企画調整係	R7									
総合計画分類:	1-2-(1) 企業誘致の推進											
総合戦略分類:	①-(3) 活力ある地域産業の強化											
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント		総合戦略会議コメント		外部評価を受けた対応(担当課)		
年度	前期基本計画	後期基本計画				【実績・効果】 相談は2件 【今後の取組・方針等】 相談には、工業団地を優先して紹介するが、要望に合った土地の紹介を優先し企業誘致につなげていきたい。併せて、町の支援事業に関する資料の内容を再度精査し、周知と相談体制の強化を図る。	庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント		総合戦略会議コメント		外部評価を受けた対応(担当課)
	R2	R3	R4	R5	R6							
事業費(千円)	70	70	35	70	70							
国・県支出金												
地方債												
その他												
一般財源	70	70	35	70	70							

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価		
特別保証制度保証料補助事業	町内の中小企業者が、県信用保証協会より事業資金の保証を受けた場合の保証料を補てんし、企業経営の安定に寄与する。	継続	R2	各融資枠90%以上を継続する。	小口資金保証料補てん制度利用率	90%	100%	A	1	A 総合戦略に有効		
		R4-R8	R3	各融資枠90%以上を継続する。	小口資金保証料補てん制度利用率	100%	100%	A	2	A 総合戦略に有効		
		ソフト	R4	各融資枠90%以上を継続する。	小口資金保証料補てん制度利用率	100%	100%	A	1	A 総合戦略に有効		
			R5	各融資枠90%以上を継続する。	小口資金保証料補てん制度利用率	100%	100%	A	1	A 総合戦略に有効		
			R6	各融資枠90%以上を継続する。	小口資金保証料補てん制度利用率	100%						
		企画調整係	R7									
総合計画分類:	1-3-(3) 活力ある地域産業の育成											
総合戦略分類:	①-(3) 活力ある地域産業の強化											
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント		総合戦略会議コメント		外部評価を受けた対応(担当課)		
年度	前期基本計画	後期基本計画				【実績・効果】 ※R5年度実績 「選ばれる青森」への挑戦 4件 344,015円 藤崎町小口特別保証貸付制度 16件 2,104,350円 起業・創業希望者や物価高騰等の影響を受けた中小事業者の経営支援ができた。 【今後の取組・方針等】 令和6年度から「選ばれる青森」への挑戦資金から「青森新時代」への架け橋資金へ名称が変わり、これまでの「創業枠」のほか新たに「資金引上げに資する取組枠」、「物流の2024年問題の解決への取組枠」を追加し、起業・創業希望者や中小事業者へのサポートを継続して実施する。	庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント		総合戦略会議コメント		外部評価を受けた対応(担当課)
	R2	R3	R4	R5	R6							
事業費(千円)	1,824	7,430	2,019	2,448	3,940							
国・県支出金			77									
地方債												
その他												
一般財源	1,824	7,430	1,942	2,448	3,940							

(4) 戦略的な雇用支援の推進

◆ 第1期指標

オールふじさき！みんなでアクション！	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	R1	R2
地域のしごとの魅力を みんなで子どもたちに伝えよう！	■起業・創業制度資金の活用件数	0件 (H26)	5件 (H32) ※5年で5件増加	0件 (累計)	0件 (累計)	1件 (累計)	4件 (累計)	6件 (累計)	9件 (累計)

◆ 第1期指標達成状況に対する総括

・当初目標は達成しており、その上令和2年度のコロナ禍においても増加件数の伸びが失われていないことから、コロナ禍においても総合戦略の推進に有効であると考えられる。
 ・今後も制度の周知などを徹底し、潜在的な活用希望者に働きかけていただきたい。

◆ 第2期指標

指標	当初	目標	R2	R3	R4	R5	R6
■起業・創業制度資金の活用件数	6件 (H27～R1)	5年で5件の活用	3件 (累計)	6件 (累計)	7件 (累計)	12件 (累計)	

事業名		事業概要・取組内容				事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価
中学校職場体験事業		【事業の概要】 中学生が地元の職場を体験することにより、地元の仕事の良さを学ぶなど、将来的な地元就職に繋がる支援を行う。 【取組内容】 中学校1・2年生を対象に、地元の職場体験を実施する。				継続	R2		職場体験実施校数	2校	2校	A	2	A 総合戦略に有効
							R3		職場体験実施校数	2校	1校	C	2	A 総合戦略に有効
						ソフト	R4		職場体験実施校数	2校	1校	C	2	A 総合戦略に有効
							R5		職場体験実施校数	2校	2校	A	2	A 総合戦略に有効
							R6		職場体験実施校数	2校				
総合計画分類:		①-(4) 戦略的な雇用支援の推進				学務係	R7							
事業費(千円)						【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)		庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)			
年度	前期基本計画		後期基本計画			【実績・効果】 町内外での職場体験学習を実施(明徳中学校) 新型コロナウイルスにより開催できないため、学校教諭が講話、講義を行い、個人新聞等にまとめた。 (藤崎中学校)								
	R2	R3	R4	R5	R6									
事業費(千円)						【今後の取組】 生徒の発達段階を考慮した勤労観、職業観育成のため、地元の仕事の良さを学び、将来的な地元就職に繋がる職場体験実施する。								
国・県支出金														
地方債														
その他														
一般財源														

事業名		事業概要・取組内容				事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価
就労・起業支援制度整備事業		起業創業に係る融資資金として「青森新時代」への架け橋資金について、積極的に周知し、資金の利用促進を図る。町、よろず支援拠点、町商工会が連携し、出張相談会の開催のほか、各種事業を実施し創業希望者等の支援を図る。				継続	R2	「選ばれる青森」への挑戦資金の前年比1件増の活用を図る。	資金活用件数	3件	3件	A	2	A 総合戦略に有効
							R3	「選ばれる青森」への挑戦資金の前年比1件増の活用を図る。	資金活用件数	4件	3件	B	2	A 総合戦略に有効
						ソフト	R4	「選ばれる青森」への挑戦資金の前年比1件増の活用を図る。	資金活用件数	4件	1件	D	2	A 総合戦略に有効
							R5	「選ばれる青森」への挑戦資金の前年比1件増の活用を図る。	資金活用件数	4件	4件	A	2	A 総合戦略に有効
							R6	「青森新時代」への架け橋資金の前年比1件増の活用を図る。	資金活用件数	5件				
総合計画分類:		1-5-(3) 起業、創業の支援				企画調整係	R7							
事業費(千円)						【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)		庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)			
年度	前期基本計画		後期基本計画			【実績・効果】 選ばれる青森への挑戦の活用が4件あった。 ※令和6年度より、「選ばれる青森への挑戦資金」から「青森新時代への架け橋資金」名称変更								
	R2	R3	R4	R5	R6	【今後の取組・方針等】 信用保証協会からの資金利用者の情報提供により引き続き資金ニーズの把握に努める。 令和4年度に創業支援等事業計画を策定したことにより、引き続き創業を希望する事業者の支援を促進する。 令和6年度からは、町、よろず支援拠点、町商工会が連携し、創業希望者のほか町内の小規模事業者や中小企業の経営に関するお悩みを聞きアドバイスを行う「出張相談会」を月1回開催する。								
事業費(千円)	0	0	0	0	0									
国・県支出金														
地方債														
その他														
一般財源	0	0	0	0	0									

事業名		事業概要・取組内容				事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価
地元雇用促進依頼事業		誘致企業等の訪問時に、地元雇用への協力依頼を行い、そのために町広報の有料広告を活用し、求人広告ができることをアナウンスする。				新規	R2	国移住支援金制度による雇用先となる事業所を1件登録する。		1件	1件	A		
							R3	国移住支援金制度による雇用先となる事業所を前年比1件増とする	移住支援事業対象の事業所の新規登録件数	2件	0件	D	2	A 総合戦略に有効
						ソフト	R4	国移住支援金制度による雇用先となる事業所を前年比1件増とする	移住支援事業対象の事業所の新規登録件数	1件	1件	A	1	A 総合戦略に有効
							R5	国移住支援金制度による雇用先となる事業所を前年比1件増とする	移住支援事業対象の事業所の新規登録件数	2件	2件	A	2	A 総合戦略に有効
							R6	国移住支援金制度による雇用先となる事業所を前年比1件増とする	移住支援事業対象の事業所の新規登録件数	3件				
総合計画分類:		1-5-(1) 地元就職の支援				企画調整係	R7							
事業費(千円)						【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)		庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)			
年度	前期基本計画		後期基本計画			【実績・効果】 移住支援事業の雇用先の登録事業所は2件((株)和電工業、(有)小倉舗装工業藤崎営業所)								
	R2	R3	R4	R5	R6	【今後の取組・方針等】 町内の企業、事業所に対し移住者の雇用先となるマッチングサイトへの登録について、制度の概要を送付し移住支援事業を周知し登録件数を増やす。 事業の概要: 移住支援金の対象求人(東京圏から青森県に移住しマッチングサイト登録事業所に就業した方に支援金を給付)を登録し、UIJターン者の採用につなげる。 併せて、東京圏に住むUIJターン就職希望者への企業PRや大手民間求人サイトへの求人情報掲載等高い広告効果も見込まれる。								
事業費(千円)	0	0	0	0	0									
国・県支出金														
地方債														
その他														
一般財源	0	0	0	0	0									

<基本目標2> まちの未来を築く“ひと”を創生する

◆ 第1期指標

概要	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	R1	R2
豊かな自然や歴史文化、交通利便性の高さなど、町の強みを最大限に活かしながら、町の未来を築く“ひと”を創生することで、誰もが活躍できるまちづくりを推進する。	■定住意識について「転出は考えていない」「将来的に町に戻りたい」と考える人の割合	78.1% (H27)	現状より増加 (H32)	未計測	未計測	未計測	未計測	75.6%	未計測
	■町に愛着を感じている人の割合	73.5% (H24)	現状より増加 (H32)	未計測	未計測	未計測	未計測	75.9%	未計測

◆ 第1期指標達成状況に対する総括

・定住意識が低下する結果の一方、町への愛着については、上昇して目標を達成している（R1時点）。
 ・進学・就職を機に若い世代が地域外に出ざるを得ない構造的問題がここに現れている。
 ・ひとづくりの分野では、引き続き「地域への愛着を育てるふるさとづくり」のため、継続的に町民への意識醸成を働きかけていながら、若い世代の定住意識の高まりに繋げる必要がある。

◆ 第2期指標

指標	当初	目標	R2	R3	R4	R5	R6
■町に愛着を感じている人の割合	75.9% (R1)	現状より増加	未計測	未計測	未計測	未計測	

(1) 新しい人の流れをつくる定住移住の促進

◆ 第1期指標

概要	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	R1	R2
オールふじさき！みんなでアクション！									
子どもたちが安心して遊べる 地域みんなが見守り隊！	■移住相談件数	0件 (H26)	10件 (H32) ※5年で10件増加	1件 (累計)	1件 (累計)	1件 (累計)	1件 (累計)	1件 (累計)	4件 (累計)

◆ 第1期指標達成状況に対する総括

・目標には届かなかったが、令和元年度の地域おこし協力隊採用開始や令和2年度のコロナ禍による東京一極集中への忌避などを経て、相談件数は着実に伸びている。
 ・件数の増加はもちろん、そこから着実に移住・定住に繋がられるように働きかけを行う。

◆ 第2期指標

指標	当初	目標	R2	R3	R4	R5	R6
■転入者数	406人 (R1)	480人 ※5年で18%増加	369人	375人	364人	351人	

事業名		事業概要・取組内容		事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価		
1	移住・交流促進事業	【事業概要】 当町の社会動態を改善して人口減少問題を克服するため、主に都市部からの移住・交流を推進するとともに、移住定住に係る窓口のワンストップ化を推進し、移住関連情報の集約を図る。 【取組内容】 移住の首都圏窓口である青森暮らしサポートセンターの活用や町タウンガイドブックによる情報提供を行い、移住・交流受入環境を整備する。	継続	R2	移住相談件数 県外からの転入者数 三大都市圏と政令指定都市からの転入者数	移住相談件数 県外からの転入者数 三大都市圏と政令指定都市からの転入者数	前年より増 前年より増 前年より増	3件 94人 67人	B	2	A 総合戦略に有効			
			R4-R8	R3	移住相談件数 県外からの転入者数 三大都市圏と政令指定都市からの転入者数	移住相談件数 県外からの転入者数 三大都市圏と政令指定都市からの転入者数	前年より増 前年より増 前年より増	1件 59人 32人	C	1	A 総合戦略に有効			
	ソフト		R4	移住相談件数 県外からの転入者数 三大都市圏と政令指定都市からの転入者数	移住相談件数 県外からの転入者数 三大都市圏と政令指定都市からの転入者数	前年より増 前年より増 前年より増	14件 102人 53人	A	1	A 総合戦略に有効				
	重点(活力)		R5	移住相談件数 県外からの転入者数 三大都市圏と政令指定都市からの転入者数	移住相談件数 県外からの転入者数 三大都市圏と政令指定都市からの転入者数	前年より増 前年より増 前年より増	17件 95人 49人	C	1	A 総合戦略に有効				
	戦略推進係		R6	移住相談件数 県外からの転入者数 三大都市圏と政令指定都市からの転入者数	移住相談件数 県外からの転入者数 三大都市圏と政令指定都市からの転入者数	前年より増 前年より増 前年より増								
	R7													
総合計画分類: 4-7-(1) 定住を支える体制づくりの推進														
総合戦略分類: ②-(1) 新しい人の流れをつくる定住移住の促進														
事業費(千円)				【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)				
年度	前期基本計画			後期基本計画		※事業費は、圏域で実施する首都圏での移住セミナーの旅費及び弘前圏域移住・交流推進事業負担金 【実績・効果】 移住定住コーディネーターを活用し、町への移住に係る情報の発信や、移住相談の体制整備などを継続して実施した。 【今後の取組】 弘前圏域で行う共同事業をベースに実施内容を検討する。 また、地方創生交付金によるシティブロモーション事業、ふじさき移住すまいづくり支援金、おためし移住体験(お試し地域おこし協力隊等)、移住定住コーディネーターの提案事業などと連携し、町の住みやすさを積極的にPRし、町への移住・定住増を図る。								
	R2	R3	R4	R5	R6									
事業費(千円)	405	539	546	951	851									
国・県支出金														
地方債														
その他														
一般財源	405	539	546	951	851									

事業名		事業概要・取組内容		事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価		
2	ふるさと納税	藤崎町を愛し、応援しようとする個人及び団体から広く寄附金を募り、これを財源として各種事業を実施し、寄附者の藤崎町に対する思いに即した事業に活用することにより、活力あふれる「ふるさとづくり」を推進する。	継続	R2	ふるさと納税者件数を前年度同程度以上の確保を目指す。	ふるさと納税者件数	16,969件	14,216件	B	1	A 総合戦略に有効			
			R4-R8	R3	ふるさと納税者件数をR1年度同程度以上の確保を目指す。	ふるさと納税者件数	16,969件	15,661件	B	1	A 総合戦略に有効			
	ソフト		R4	ふるさと納税者件数をR1年度同程度以上の確保を目指す。	ふるさと納税者件数	16,969件	32,929件	A	1	A 総合戦略に有効				
	重点(活力)		R5	ふるさと納税者件数をR4年度同程度の確保を目指す。	ふるさと納税者件数	33,000件	23,166件	B	1	A 総合戦略に有効				
	管財係		R6	ふるさと納税者件数をR4年度同程度の確保を目指す。	ふるさと納税者件数	33,000件								
	R7													
総合計画分類: 6-5-(4) 健全で持続可能な財政構造の構築														
総合戦略分類: ②-(1) 新しい人の流れをつくる定住移住の促進														
事業費(千円)				【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)				
年度	前期基本計画			後期基本計画		【実績・効果】 R5年度寄附額 23,166件 246,014,000円 事業費(経費)121,909,619円 R4年度寄附額 32,929件 328,494,500円 事業費(経費)156,543,208円 R3年度寄附額 15,661件 194,811,831円 事業費(経費)91,185,944円 R2年度寄附額 14,216件 177,914,510円 事業費(経費)84,001,881円 R1年度寄附額 16,969件 180,393,407円 事業費(経費)99,728,166円 【今後の取組・方針】 先進地の取組事例等の情報収集及び新規登録事業者の増加を図り、寄附件数の安定化を図るほか、R4に作成したPR動画を有効活用することで、町内産品のPRにつなげる。 ※返礼品に係る経費は50%以下								
	R2	R3	R4	R5	R6									
事業費(千円)	84,002	91,186	156,544	121,910	130,000									
国・県支出金														
地方債														
その他														
一般財源	84,002	91,186	156,544	121,910	130,000									

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価
空き家・空き地バンク運営事業	【事業概要】 弘前市が実施している民間の不動産業者等と連携した空き家バンク事業を、弘前市定住自立圏市町村で実施できるかを検討する。弘前圏域空き家・空き地バンク協議会(会員は宅建業者、金融機関、市町村)が運営主体となっている。 【取組内容】 空き家バンクの利用方法や各市町村の役割等について検討を行い、将来的な移住施策に繋げる。	継続	R2	バンク登録件数2件増とする	バンク新規登録物件数	2件	1件	C	1	A 総合戦略に有効
		R4-R8	R3	バンク登録件数2件増とする	バンク新規登録物件数	2件	2件	A	1	A 総合戦略に有効
		ソフト	R4	バンク登録件数2件増とする	バンク新規登録物件数	2件	2件	A	1	A 総合戦略に有効
			R5	バンク登録件数2件増とする	バンク新規登録物件数	2件	0件	C	1	B 総合戦略にわずかだが有効
			R6	バンク登録件数2件増とする	バンク新規登録物件数	2件				
総合計画分類:	4-7-(1) 定住を支える体制づくりの推進									
総合戦略分類:	②-(1) 新しい人の流れをつくる定住移住の促進	戦略推進係	R7							
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】(担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント		総合戦略会議コメント		外部評価を受けた対応(担当課)
年度	前期基本計画		後期基本計画							
	R2	R3	R4	R5	R6					
事業費(千円)	207	222	294	260	344					
国・県支出金										
地方債										
その他										
一般財源	207	222	294	260	344					

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価
ふじさき移住すまいづくり支援金助成事業	【事業概要】 町外からの移住の増および移住後の定住をサポートするため、町外から移住して住宅を建築又は購入する者に支援金を助成する。 【取組内容】 町外に3年以上住所を置いてから藤崎町へ転入した者で、かつ転入日より3年経過するよりも前に町内に住宅を取得して入居した者に対し、支援金50万円を助成する。	新規	R2							
		R4-R8	R3							
		ソフト	R4	新規移住世帯を毎年30世帯を目標とする。	新規移住世帯数	30世帯	39世帯	A	2	A 総合戦略に有効
		重点(希望)	R5	新規移住世帯を毎年30世帯を目標とする。	新規移住世帯数	30世帯	40世帯	A	2	A 総合戦略に有効
			R6	新規移住世帯を毎年30世帯を目標とする。	新規移住世帯数	40世帯				
総合計画分類:	4-7-(1) 定住を支える体制づくりの推進									
総合戦略分類:	②-(1) 新しい人の流れをつくる定住移住の促進	戦略推進係	R7							
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】(担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント		総合戦略会議コメント		外部評価を受けた対応(担当課)
年度	前期基本計画		後期基本計画							
	R2	R3	R4	R5	R6					
事業費(千円)			19,500	15,000	20,000					
国・県支出金										
地方債										
その他										
一般財源			19,500	15,000	20,000					

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
子育て世帯定住促進事業	【事業の概要】 町内の民間賃貸住宅に転入する子育て世帯に、家賃補助(最大月2万円を24か月間)及び義務教育就学児童に米(最大で月5kgを24か月間)を給付する。(申請期間:平成29年度から令和元年度まで) 【取組内容】 町に転入し、民間賃貸住宅に入居する子育て世帯に対し、定住促進と子育て支援の充実を図るため、補助金等を交付する。	継続	R2	※令和元年度で申請受付を終了し、令和2~4年度は給付のみとなる。	補助金等交付決定件数(継続のみ)	6件	7件	A	2	A 総合戦略に有効	
		R4-R8	R3	(家賃助成が令和3年度まで、お米助成が令和4年度まで)	補助金等交付決定件数(継続のみ)	6件	5件	B	2	A 総合戦略に有効	
		ソフト	R4	お米助成の継続分とし、令和4年度で終了となる。	補助金等交付決定件数(継続のみ)	2件	2件	A	4	A 総合戦略に有効	
		重点(希望)	R5								
			R6								
総合計画分類:	2-1-(4) 子育てしやすい環境づくりの推進										
総合戦略分類:	②-(1) 新しい人の流れをつくる定住移住の促進	子育て支援係	R7								
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】(担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント		総合戦略会議コメント		外部評価を受けた対応(担当課)	
年度	前期基本計画		後期基本計画								
	R2	R3	R4	R5	R6						
事業費(千円)	1,564	922	32	0							
国・県支出金											
地方債											
その他											
一般財源	1,564	922	32	0							

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
移住支援金助成事業(あおもり医療・福祉職子育て世帯移住支援事業含む) 総合計画分類: 4-7-(1) 定住を支える体制づくりの推進 総合戦略分類: ②-(1) 新しい人の流れをつくる定住移住の促進	【移住支援金事業】 ・国による移住施策で県と共同で実施する移住支援事業。東京圏からの移住者に対して、対象者要件、就職要件等支給要件を満たした場合に移住支援金を交付する。 ・2人以上世帯100万円・単身世帯60万円・18歳未満の子1人につき100万円 【医療・福祉職子育て移住支援事業】 東京圏以外からの医療・福祉職子育て世帯の移住を進めるための県の施策。 ・基本分世帯100万円・子育て加算100万円/子・ひとり親世帯加算100万円	新規	R2	移住支援制度活用者を2人とする。		2人	0人	D			
		R4-R8	R3	移住支援制度活用者を2人とする。	移住者数(制度利用者)	2人	0人	D	1	C 総合戦略に有効でない	
		ソフト	R4	移住支援制度活用者を2人とする。	移住者数(制度利用者)	2人	0人	D	1	C 総合戦略に有効でない	
		重点(活力)	R5	移住支援制度活用者を2人とする。	移住者数(制度利用者)	2人	1人	B	1	B 総合戦略にわずかだが有効	
			R6	移住支援制度活用者を2人とする。	移住者数(制度利用者)	2人					
		企画調整係	R7								
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】(担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)			
年度	前期基本計画	後期基本計画				【実績・効果】 令和5年度は、単身1名 【今後の取組・方針等】 移住支援助成制度について制度のメリットを周知し、移住の実現につながるよう圏域移住施策、空き家空き地バンク等の連携を図る。町内事業所にも移住支援金助成事業の周知を図り、受け入れ事業としての登録を増やしていきたい。					
	R2	R3	R4	R5	R6						
事業費(千円)	0	0	0	600	4,000						
国・県支出金	0	0	0	450	3,000						
地方債											
その他											
一般財源	0	0	0	150	1,000						

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
「住みよいまち」から「住みたいまち」に！ふじさきプロモーション人材育成プロジェクト 総合計画分類: 総合戦略分類: ②-(1) 新しい人の流れをつくる定住移住の促進	地方移住希望者に対し、藤崎町を効果的にプロモーションするため、地域住民・地域商社・行政が連携して地域住民目線の積極的な発信を増やす体制づくりや発信ノウハウ伝授のしくみを整備することで、共創によるまちづくりの推進、交流・関係人口の拡大、地域経済循環活性化による活動の自立化、移住者の増へとつなげる。 ①ローカルフォトアカデミア事業…写真で住民自らが地域を発信するための人材育成および移住交流人口や関係人口に向けた解像度の高い情報発信の土台づくり ②まちの映像クリエイター事業…映像制作会社と連携した地域プロモーション映像制作人材の育成およびプロモーション映像の制作等 ③放課後まちづくりクラブ事業…若者世代が感性を活かして共創し、地域と関わりを持って発信する機会づくりに取り組む ④アップルクリエイティブキャンプ事業…プロのクリエイター人材を招致して創作コンペ、地域人材との交流やワークショップを行うことで、地域人材の創作活動のモチベーション向上を図る	新規	R2								
			R3								
		ソフト	R4	転入者数の増加割合(2021年度比) 移住相談件数 交付金事業で実施する事業への参画者数	2.8% 4件 0人	1.53%(396人) 14件 0人	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効		
		重点(活力)	R5	転入者数の増加割合(2021年度比) 移住相談件数 交付金事業で実施する事業への参画者数	3.6% 4件 5人	-10%(351人) 17件 6人	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効		
			R6	転入者数の増加割合(2021年度比) 移住相談件数 交付金事業で実施する事業への参画者数	4.4% 5件 5人						
		戦略推進係	R7								
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】(担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)			
年度	前期基本計画	後期基本計画				※事業費は以下①～③事業費(委託料)の合計。※転入者の基準年(2021年)の転入者数390人 【実績】 ①ローカルフォトアカデミア(参加者:計29人※R4…12人、R5…17人) ・カメラを通して町及び町で活躍する人を知ってもらうことで、事業外での関係性構築につながったほか、SNS等で自身の活動を発信するなど、受講の成果が出ている。R5は参加者が撮影した写真をもとにフォトマップを制作した。 ②映像クリエイター塾(参加者12人) ・卒業生数を中心とした住民団体が発足し、町CM大賞の映像制作等を請け負ったりなど、町のPRにつながっている。 ③放課後まちづくりクラブ(フラット)(参加者:計11人※R4…5人、R5…6人) ・これまで、町の新たなスイーツ開発としてりんご「ふじ」を使ったオリジナルスイーツを試作やにんにくのPRとして黒ニンニクと通常のニンニクを使用した「にんにくオセロ」を考案し、地域住民に体験いただいた。 【今後の取組・方針】 ①引き続き事業の展開、拡大を支援していきたい。 ②クリエイター塾参加者のうち、さらに動画製作に興味を持った有志メンバーによって住民団体が発足したので、今年度の塾受講者等にも参加を促して拡大を目指したい。また、自立して町のPRや交流関係人口の拡大につながる取組を支援していきたい。 ③参加者が少なく苦慮したが、参加した高校生が自主的に地域課題やまちづくりに向き合うきっかけづくりになったので、引き続き事業を継続していく。					
	R2	R3	R4	R5	R6						
事業費(千円)	0	0	10,101	10,601	12,801						
国・県支出金			5,050	5,300	6,400						
地方債											
その他											
一般財源			5,051	5,301	6,401						

(2) 未来を創造する人材の育成

◆ 第1期指標

オールふじさき！みんなでアクション！ 地域の愛着やふるさとの誇り 学びながらみんなで育もう！	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	R1	R2
■ジュニアリーダー数	10人 (H26)	15人 (H32) ※5年で5人増加		13人	13人	13人	13人	17人	17人

◆ 第1期指標達成状況に対する総括

・子ども達の学びをリードする人材の確保に成功しており、この成果を現場での地域愛を持った人材育成につなげていただきたい。

◆ 第2期指標

指標	当初	目標	R2	R3	R4	R5	R6
■藤崎町図書館の年間貸出冊数	23,755冊 (R1)	26,130冊 ※5年で10%増加	19,326冊	16,921冊	17,036冊	22,890冊	

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価
学生ボランティア参加事業	秋まつりなど町のイベントに、中高生のボランティアを募集、参加してもらうことで、町への愛着や誇りの意識を喚起し、加えて奉仕精神の醸成により、思いやりの心や挨拶の励行など、人間性に富んだ人材を育てる。	継続	R2	ふじさき秋まつりに、2日間延べ40人の参加とする。	2日間延べ参加者数	40人	0人	E	2	B 総合戦略にわずかだが有効
		R4-R8	R3	ふじさき秋まつりに、2日間延べ40人の参加とする。	2日間延べ参加者数	40人	0人	E	2	B 総合戦略にわずかだが有効
		ソフト	R4	ふじさき秋まつりに、2日間延べ40人の参加とする。	2日間延べ参加者数	40人	0人	E	3	B 総合戦略にわずかだが有効
		R5	ふじさき秋まつりに、2日間延べ40人の参加とする。	2日間延べ参加者数	40人	19人	C	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
		R6	ふじさき秋まつりに、2日間延べ40人の参加とする。	2日間延べ参加者数	40人					
		企画調整係	R7							
総合計画分類:	6-3-(1) ボランティア活動の支援強化									
総合戦略分類:	②-(2) 未来を創造する人材の育成									
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)	
年度	前期基本計画	後期基本計画				【実績・効果】秋まつりを3年ぶりに開催し、町内中学生にボランティアを打診したが保護者の同意が得られなかった。 【今後の取組・方針等】ボランティア学生の受け入れ希望は前年踏襲ではなく真に必要なチームとする。中学生に関しては、参加者募集の段階から学務課と連携し、従事内容を理解してもらった上での募集をしたい。更に高校や弘前大学ボランティアセンターの利用も視野に広く募集する検討を進める。新型コロナウイルス感染症の状況も考慮し、当該事業のあり方も検討していく必要がある。				
	R2	R3	R4	R5	R6					
事業費(千円)	0	0	0	0	0					
国・県支出金										
地方債										
その他										
一般財源	0	0	0	0	0					

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価
食の体験学習事業	【事業の概要】食を通じて、食文化の継承を図ることや自然の恵み並びに勤労の大切さを理解してもらうため、小学校で田植えや野菜づくりを体験する「食育ファーム」を開催する。 【取組内容】米、りんご、野菜づくりを体験することで、食の大切さと感謝の気持ちを持った元気で健やかな子どもたちを育てる。	継続	R2	町内小全校で体験学習を開催	食の体験学習実施学校数	3校	3校	A	2	A 総合戦略に有効
		R4-R8	R3	町内小全校で体験学習を開催	食の体験学習実施学校数	3校	3校	A	2	A 総合戦略に有効
		ソフト	R4	町内小全校で体験学習を開催	食の体験学習実施学校数	3校	3校	A	2	A 総合戦略に有効
		R5	町内小全校で体験学習を開催	食の体験学習実施学校数	3校	3校	A	2	A 総合戦略に有効	
		R6	町内小全校で体験学習を開催	食の体験学習実施学校数	3校					
		学務係	R7							
総合計画分類:	3-1-(4) 食育の推進									
総合戦略分類:	②-(2) 未来を創造する人材の育成									
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)	
年度	前期基本計画	後期基本計画				【事務局】藤崎町に新しくできたリンゴカ(産業文化交流施設)を活用できないものか。 【担当課】学校と原木公園管理者でやりとりしているため、すぐには難しいと思う。検討してもらえよう、校長先生に掛け合ってみる。				
	R2	R3	R4	R5	R6					
事業費(千円)	706	710	717	766	764					
国・県支出金										
地方債										
その他										
一般財源	706	710	717	766	764					

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価
子ども総合学習塾	【事業の概要】小学生を対象に、土曜日及び長期休暇を利用し、子どもたちの知・徳・体の充実のため、中南地区関係機関と連携しながら、学生及び地域住民の協力を得た総合的な学びの場を提供する。(中南地区連携推進協議会で実施するコラボレーション企画事業) 【取組内容】児童が宿題やドリル等を持ち込み、弘前大学の学生と一緒にわからないことや知りたいこと等、学習をする。また、ALTIによる英語学習も取り入れて行う。	継続	R2	年間開催回数7回以上。参加人数のべ100名以上	子ども総合学習塾参加者延べ人数	200人	39人	A	2	A 総合戦略に有効
		R4-R8	R3	年間開催回数12回以上。参加人数のべ120名以上	子ども総合学習塾参加者延べ人数	120人	112人	A	2	A 総合戦略に有効
		ソフト	R4	年間開催回数、8回以上。参加人数のべ120名以上	子ども総合学習塾参加者延べ人数	120人	74人	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効
		R5	年間開催回数、8回以上。参加人数のべ120名以上	子ども総合学習塾参加者延べ人数	120人	73人	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
		R6	年間開催回数、8回以上。参加人数のべ120名以上	子ども総合学習塾参加者延べ人数	120人					
		学務係	R7							
総合計画分類:	3-1-(1) 学力向上の支援									
総合戦略分類:	②-(2) 未来を創造する人材の育成									
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)	
年度	前期基本計画	後期基本計画				【実績・効果】令和4年度:8回実施。新型コロナウイルスの関係で1回中止となった。 【今後の取組】令和5年度も中南地区連携協議会(事務局:弘前大学)と連携しながら、総合的な学びの場を提供するため事業の継続を図る。				
	R1	R2	R3	R4	R5					
事業費(千円)	15	15	15	15	15					
国・県支出金										
地方債										
その他										
一般財源	15	15	15	15	15					

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価
家庭教育支援事業	【事業の概要】幼児及び児童生徒の健全育成を図るため家庭教育相談・家庭教育講座を実施する。 【取組内容】幼児及び児童生徒の健全育成を図るため、保護者等に家庭教育講座及び相談体制の充実を図る。家庭教育相談 12回 家庭教育講座 3回	継続	R2	相談や講座を通して定期的に家庭教育の学習機会を提供。	家庭教育支援事業参加者数	30人	33人	A	2	A 総合戦略に有効
		R4-R8	R3	相談や講座を通して定期的に家庭教育の学習機会を提供。	家庭教育支援事業参加者数	30人	8人	D	2	B 総合戦略にわずかだが有効
		ソフト	R4	相談や講座を通して定期的に家庭教育の学習機会を提供。	家庭教育支援事業参加者数	30人	19人	C	2	B 総合戦略にわずかだが有効
		R5	相談や講座を通して定期的に家庭教育の学習機会を提供。	家庭教育支援事業参加者数	30人	88人	A	2	A 総合戦略に有効	
		R6	相談や講座を通して定期的に家庭教育の学習機会を提供。	家庭教育支援事業参加者数	60人					
		文化振興係	R7							
		総合戦略分類:	②-(2) 未来を創造する人材の育成							
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)		
年度	前期基本計画	後期基本計画				【実績】 ○家庭教育相談「子育てなんでも相談」…月1回、第3又は第4土曜日(午後1時～午後4時) 常盤生涯学習文化会館及びふれあいずーむ館(隔月)で実施。 面談相談…1件・電話相談…2件 ○家庭教育講座「藤崎町子育て・親育ち講座」(5講座) 「親子体操教室(参加人数:12組・26名)」「親子でDYI体験講座(参加人数:10組・24名)」「～シェフが教える～親子でフランス教室(参加人数:7組・17名)」「～親子と一緒に～クリスマスリース作り講座(参加人数:9組・18名)」「～子どもへの授け方～アンガーマネジメント講座(講師の都合により中止)」 【今後の取組】 ○家庭教育相談…町広報紙・ホームページ等において事業の周知を図り、今後も継続して実施する。 ○家庭教育講座…講座内容等の検証及び町広報紙・ホームページ等において事業の周知を図り、今後も継続して実施する。				
R2	R3	R4	R5	R6						
事業費(千円)	138	208	217	160	205					
国・県支出金										
地方債										
その他										
一般財源	138	208	217	160	205					

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価
郷土クラブ事業	【事業の概要】子どもたちに、地域に伝わる伝統芸能指導。 【取組内容】地域の伝統芸能の指導者が、藤崎小・藤崎中央小のクラブ活動の時間に、地域に伝わる踊り「菊様の舞」「松助踊り」を指導する。	継続	R2	「菊様の舞」「松助の踊り」を児童へ継承する。	郷土クラブ事業参加児童数	18人	19人	A	2	A 総合戦略に有効
		R4-R8	R3	「菊様の舞」「松助の踊り」を児童へ継承する。	郷土クラブ事業参加児童数	18人	18人	A	2	A 総合戦略に有効
		ソフト	R4	「菊様の舞」「松助の踊り」を児童へ継承する。	郷土クラブ事業参加児童数	18人	22人	A	2	A 総合戦略に有効
		R5	「菊様の舞」「松助の踊り」を児童へ継承する。	郷土クラブ事業参加児童数	22人	28人	A	2	A 総合戦略に有効	
		R6	「菊様の舞」「松助の踊り」を児童へ継承する。	郷土クラブ事業参加児童数	22人					
		文化振興係	R7							
		総合戦略分類:	②-(2) 未来を創造する人材の育成							
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)		
年度	前期基本計画	後期基本計画				【実績】 ○藤崎小学校郷土クラブ ※実施期間:令和5年5月～12月・実施回数:9回・参加児童数:14人 ○藤崎中央小学校郷土クラブ ※実施期間:令和5年5月～11月・実施回数:8回・参加児童数:14人 【今後の取組】 ○今後も継続して、藤崎小学校及び藤崎中央小学校のクラブ活動の時間に伝統芸能継承活動として、郷土クラブを実施する。				
R2	R3	R4	R5	R6						
事業費(千円)	137	153	109	76	99					
国・県支出金										
地方債										
その他										
一般財源	137	153	109	76	99					

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価
NPO法人文化協会活動補助事業	【事業の概要】藤崎町における芸術・文化の交流を図るとともに、県内の団体との交流 【取組内容】芸術・文化の町民交流機会を増加するため、所属団体の活動活性化に努める。	継続	R2	芸術文化団体の活動支援。	文化協会所属団体数	団40、個5、賛1	団33、個5、賛1	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効
		R4-R8	R3	芸術文化団体の活動支援。	文化協会所属団体数	団40、個5、賛1	団33、個5、賛1	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効
		ソフト	R4	芸術文化団体の活動支援。	文化協会所属団体数	団33、個5、賛1	団33、個4、賛1	A	2	B 総合戦略にわずかだが有効
		R5	芸術文化団体の活動支援。	文化協会所属団体数	団33、個5、賛1	団30、個6、賛1	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
		R6	芸術文化団体の活動支援。	文化協会所属団体数	団30、個6、賛1					
		文化振興係	R7							
		総合戦略分類:	②-(2) 未来を創造する人材の育成							
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)		
年度	前期基本計画	後期基本計画				【実績】 ○活動費の支援。(団体:30・個人:6・賛助会員:1) ○予定していた全事業を実施。(研修会・文化協会広報誌「結」発行等) 【今後の取組】 ○文化協会会員の活動支援や交流、芸術文化の振興及び活性化を図る。 ※目標値・実績値の表記は、団体/個人/賛助会員の数となります。				
R2	R3	R4	R5	R6						
事業費(千円)	600	300	300	600	600					
国・県支出金										
地方債										
その他										
一般財源	600	300	300	600	600					

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
子ども読書週間推進事業	【事業概要】 将来、子ども達が多様な学習ニーズに対応できるように、毎年、「子どもの読書週間」及び「全国読書週間」を中心に、子ども向け事業として本の読み聞かせ活動・図書資料の紹介等とお話会・児童・生徒への読書習慣づくりに努める。 【取組内容】 児童向け図書資料の充実及びボランティア団体による読み聞かせのお話を開催し、乳幼児・児童生徒の読書習慣づくりを推進する。	継続	R2		利用者数(お話し参加者数)	1,100人	606人	A	2	A 総合戦略に有効	
		R4-R8	R3		利用者数(お話し参加者数)	1,100人	580人	A	2	A 総合戦略に有効	
		ソフト	R4		利用者数(お話し参加者数)	800人	804人	A	2	A 総合戦略に有効	
			R5		利用者数(お話し参加者数)	1,100人	823人	A	2	A 総合戦略に有効	
			R6		利用者数(お話し参加者数)	900人					
総合戦略分類:	②-(2) 未来を創造する人材の育成	文化振興係	R7								
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)		
年度	前期基本計画	後期基本計画			【実績・効果】 ○予定していた全事業を実施し、乳幼児・児童・生徒に対して読書習慣づくりを推進することができた。 ※お話し等の回数…34回 【今後の取組・方針等】 ○図書館事業(図書館学五原則に基づく事業として、おはなしの出前【おはなしおさんぽ:町内保育所・幼稚園対象】・ブックスタート【おひさでだっこ:町乳児対象】等)について、魅力ある事業の企画及び活動を今後も積極的に実施する。						
	R2	R3	R4	R5							R6
事業費(千円)											
国・県支出金											
地方債											
その他											
一般財源											

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
特別支援教育支援員事業	【事業の概要】小中学校に在籍するLD(学習障害)、ADHD(注意欠陥多動性障害)等、特別な配慮を必要とする児童生徒の学校生活の支援を行う。 【取組内容】藤崎町内の小中学校に支援員を配置し、児童生徒の学習支援を実施する。	継続	R2	各小中学校に3人ずつ藤中2名 明中1名、計12人配置	特別支援教育支援員数	12人	12人	A	2	A 総合戦略に有効	
		R4-R8	R3	各小中学校に3人ずつ藤中2名 明中1名、計12人配置	特別支援教育支援員数	12人	12人	A	2	A 総合戦略に有効	
		ソフト	R4	各小中学校に3人ずつ藤中2名 明中1名、計12人配置	特別支援教育支援員数	12人	12人	A	2	A 総合戦略に有効	
		重点(希望)	R5	藤崎小3名、藤崎中央小3名、常盤小4人、藤中2名 明中1名、計13人配置	特別支援教育支援員数	13人	13人	A	2	A 総合戦略に有効	
			R6	藤崎小5名、藤崎中央小5名、常盤小6人、藤中2名 明中2名、計20人配置	特別支援教育支援員数	20人					
総合戦略分類:	②-(2) 未来を創造する人材の育成	学務係	R7								
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)		
年度	前期基本計画	後期基本計画			【実績・効果】 令和元年度より藤崎中学校2人、明徳中学校1人配置。令和5年度常盤小に1名増配置。特別な配慮を必要とする子どもたちへの支援を各学校で実施できた。 【今後の取組】 特別支援教育支援員のスキルアップを図っていく必要がある。特別な配慮を必要とする子どもたちが、増えているので状況に応じ配置人数を検討する						
	R2	R3	R4	R5							R6
事業費(千円)	13,200	13,200	13,390	15,070							29,392
国・県支出金											
地方債											
その他											
一般財源	13,200	13,200	13,390	15,070	29,392						

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
藤崎町文化センター自主事業	【事業の概要】生徒・児童・一般を対象に新しい文化や芸術を広げる。 【取組内容】小中学生や町民に、新しい文化や芸術を広げるため、演劇・音楽などの公演を実施する。	継続	R2	町民に新しい文化や芸術を継続的に推進。	自主事業参加者数	1,800人	544人	C	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
		R4-R8	R3	町民に新しい文化や芸術を継続的に推進。	自主事業参加者数	1,000人	359人	C	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
		ソフト	R4	町民に新しい文化や芸術を継続的に推進。	自主事業参加者数	800人	1,329人	A	2	A 総合戦略に有効	
			R5	町民に新しい文化や芸術を継続的に推進。	自主事業参加者数	1,800人	3,683人	A	2	A 総合戦略に有効	
			R6	町民に新しい文化や芸術を継続的に推進。	自主事業参加者数	1,500人					
総合戦略分類:	②-(2) 未来を創造する人材の育成	文化振興係	R7								
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)		
年度	前期基本計画	後期基本計画			【実績】 ○小学校鑑賞事業(ミステリーミュージカル「海底2万マイル」・入場者数:702人) ○中学校鑑賞事業(映画鑑賞「島守の塔」・入場者数:335人) ○一般鑑賞事業(梅沢富美男劇団藤崎町公演・入場者数:1,770人) (映画鑑賞「島守の塔」・入場者数:319人) (夏井いつき会ライブin藤崎町・入場者数:557人) 【今後の取組】 ○地域住民並びに児童生徒の情操教育・芸術文化の推進を図るため、一般鑑賞事業及び小・中学校鑑賞事業を継続して実施する。						
	R2	R3	R4	R5							R6
事業費(千円)	1,560	1,825	4,574	17,388							4,624
国・県支出金											
地方債											
その他											
一般財源	1,560	1,825	4,574	17,388	4,624						

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
国際交流支援事業	【事業の概要】 国際交流や地域間交流活動の推進。 事業費30千円は(財)青森県国際交流協会賛助金	継続	R2	国際交流に参画する町民の増加。	参加延べ人数	1,000人	0	E	3	C 総合戦略に有効でない	
		R4-R8	R3	国際交流に参画する町民の増加。	参加延べ人数	350人	0	E	3	C 総合戦略に有効でない	
		ソフト	R4	国際交流活動の推進。	参加延べ人数	350人	0	E	3	C 総合戦略に有効でない	
			R5	国際交流活動の推進。	参加延べ人数	350人	0	E	3	C 総合戦略に有効でない	
			R6	国際交流活動の推進。	参加延べ人数	350人					
		社会教育係	R7								
総合計画分類:	3-4-(4) 国際交流・地域間交流の推進										
総合戦略分類:	②-(2) 未来を創造する人材の育成										
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)			
年度	前期基本計画	後期基本計画				【実績・効果】 R5年度未実施。 【今後の取組】 R4年度より、藤崎町国際交流協会委員の高齢化・減少等により従来行っていた風揚げや自衛隊コンサートを終了することとなった。 今後は、改めて国際交流活動に対して模索する期間とするため、目標の変更をする。					
	R2	R3	R4	R5	R6						
事業費(千円)	30	30	30	30	30						
国・県支出金											
地方債											
その他											
一般財源	30	30	30	30							

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
中学生国際交流事業 (R2年度名称変更)	【事業の概要】中学2年生を海外に派遣し、外国の文化と伝統について理解と関心を深め、広い視野を持ち様々な分野で活躍できる次代の人材を育成する。 【取組内容】町内に住所を有する中学2年生を対象に海外でのホームステイ・学校体験を実施する。	継続	R2	オンライン交流事業参加者9人	中学生国際交流参加生徒数	12人	9人	A	2	A 総合戦略に有効	
		R4-R8	R3	オンライン交流事業7名	中学生国際交流参加生徒数	7人	7人	A	2	A 総合戦略に有効	
		ソフト	R4	オンライン交流事業12名	中学生国際交流参加生徒数	12人	9人	A	2	A 総合戦略に有効	
		重点(希望)	R5	参加者10人	中学生国際交流参加生徒数	10人	25人	A	2	A 総合戦略に有効	
			R6	参加者15人	中学生国際交流参加生徒数	15人					
		学務係	R7								
総合計画分類:	3-1-(5) 国際理解教育の推進										
総合戦略分類:	②-(2) 未来を創造する人材の育成										
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)			
年度	前期基本計画	後期基本計画				【実績・効果】H29 参加人数17人、H30 参加人数16人、R1 参加人数16人 R2 新型コロナウイルス感染症対策のため、派遣・受入事業中止。オンライン事業参加人数 9人(実績額989,000円) R3 オンライン事業参加人数 7人(実績額1,073,600円)、R4 オンライン事業参加人数 9人(実績額318,000円) R5 台湾への海外派遣を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により、ホームステイの受け入れ先が無かったために、海外派遣を断念した。その代替として、東京都教育委員会と学研等の民間の会社が設立した東京都英語村 TOKYO GLOBAL GATEWAYを中心として、東京都内で様々な国籍の外国人と交流し、国際交流事業を実施 参加人数 25人(実績額2,459,425円) 【今後の取組】 台湾への海外派遣を実施予定。	学校側からは、参加人数を減らして少数名で長期間アメリカに行くかどうか、という要望もある。				
	R2	R3	R4	R5	R6						
事業費(千円)	989	1,074	318	2,459	3,709						
国・県支出金											
地方債											
その他											
一般財源	989	1,074	318	2,459	3,709						

(3) みんながチャレンジできる環境づくり

◆ 第1期指標

オールふじさき！みんなでアクション！	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	R1	R2
誰かの小さなチャレンジを みんなで全力応援！	■いきいき生活大学受講者数	189人 (H26)	225人 (H32) ※5年で20%増加	257人	343人	352人	317人	379人	200人

◆ 第1期指標達成状況に対する総括

・当初の目標を大幅に超える実績を継続的に出しており、生涯学習の高まりに成果が見られる。
 ・最終年度はコロナ禍の特殊な事情により目標を超えられなかったが、総合戦略の推進には有効であるので、今後も感染症拡大の動向に注視して事業を継続発展させていただきたい。

◆ 第2期指標

指標	当初	目標	R2	R3	R4	R5	R6
■公民館講座受講率	69.5% (H30)	80% (R6)	85.9%	71.5%	67.7%	73.1%	

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
藤崎町公民館講座	【事業概要】 町内外から講師を招き、町民の生きがいや潤いのある生活の手助けとなるような講座を開催する。地域課題・歴史文化・健康・趣味等による学びの場の提供を図る。 【取組内容】 地域課題や町民のニーズに合った講座の開催に努める。	継続	R2		公民館講座受講者数	300人	200人	B	3	B 総合戦略にわずかだが有効	
			R4-R8	R3		公民館講座受講者数	300人	113人	C	2	B 総合戦略にわずかだが有効
		ソフト	R4		公民館講座受講者数	300人	214人	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
			R5		公民館講座受講者数	400人	151人	C	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
			R6		公民館講座受講者数	200人					
			R7								
		社会教育係									
総合計画分類:	②-(3) みんながチャレンジできる環境づくり										
総合戦略分類:	②-(3) みんながチャレンジできる環境づくり										
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)			
年度	前期基本計画	後期基本計画				【実績・効果】 ○実施期間…令和5年6月～令和6年3月 ※16講座(全講座募集人数:187人・参加人数:151人) ※うち1講座は講師の都合により中止。 ※人気講座…「古地図鑑賞会」(募集人数:15人・参加人数:27人) ※人気講座…「移動体験講座(南部裂織体験)」(募集人数:15人・参加人数:16人) 【今後の取組・方針等】 ○今後も魅力ある事業の検討及び企画を行い、積極的に事業を実施していく。					
	R2	R3	R4	R5	R6						
事業費(千円)	61	91	91	91	145						
国・県支出金											
地方債											
その他											
一般財源	61	91	91	91	145						

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
若手農業者の会「ワゲモンド」支援事業	【事業概要】 若手農業者で組織する会「ワゲモンド」のチャレンジを支援することで、地元農作物のPRや栽培技術向上に取り組むと共に、将来的な新規就農者の増加に繋げる。 【取組内容】 地域アピールや商品試作等の多様な活動をする会を支援するため、新規就農希望者等へのPRを行う。	継続	R2		若手農業者の会「ワゲモンド」会員数	27人	21人	B	3	B 総合戦略にわずかだが有効	
			R3		若手農業者の会「ワゲモンド」会員数	27人	22人	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
		ソフト	R4		若手農業者の会「ワゲモンド」会員数	27人	18人	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
			R5		若手農業者の会「ワゲモンド」会員数	27人	18人	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
			R6		若手農業者の会「ワゲモンド」会員数	27人					
			R7								
		農政係									
総合計画分類:	②-(3) みんながチャレンジできる環境づくり										
総合戦略分類:	②-(3) みんながチャレンジできる環境づくり										
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)			
年度	参 考					【今後の取組・方針】 新規就農希望者及び未加入新規就農者が来庁の際、リーフレット等を配付し会員数増加に努める。					
	R2	R3	R4	R5	R6						
事業費(千円)	0	0	0	0	0						
国・県支出金											
地方債											
その他											
一般財源											

<基本目標3> 結婚・子育ての希望をかなえる“みらい”を創生する

◆ 第1期指標

概要	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	R1	R2
地域全体で男女の出会いを応援し、出会いの場づくりなどの支援を行うことで、晩婚化や未婚化を解消する。妊婦や子育て家庭をサポートする環境づくりや子育てサービスの推進など、若い世代の結婚・子育ての希望をかなえる“みらい”を創る。これにより合計特殊出生率上昇と人口自然減抑制を図り、将来の町の人口構造安定化につなげる。	■合計特殊出生率 ※5年毎公表	1.28 (H20~24)	現状より増加 (H32)		1.36 (H25~29)			計測期間中 (H30~R4)	
	■結婚の支障理由に「異性と出会う機会がない」「収入が少なく将来の生活が不安」を挙げる人の割合	53.8% (H27)	現状より減少 (H32)	未計測	未計測	未計測	未計測	54.3%	未計測
	■希望の子どもの数を持っていない理由に「子育てや教育にお金がかかる」を挙げる人の割合	65.9% (H27)	現状より減少 (H32)	未計測	未計測	未計測	未計測	60.7%	未計測

◆ 第1期指標達成状況に対する総括

- ・結婚の支障理由についての指標はわずかだが目標を達成できなかった。しかし合計特殊出生率および希望の子どもの数を持っていない理由についての指標は目標を達成した。各施策の効果が積み重なって、この結果となったと考えられる。
- ・引き続きコロナ禍でも実施できるやり方等を検討し各施策の継続発展を願いたい。

◆ 第2期指標

指標	当初	目標	R2	R3	R4	R5	R6
■合計特殊出生率	1.36 (H25~29)	現状より増加		計測期間中 (H30~R4)		計測期間中 (R5~R9)	

指標	当初	目標	R2	R3	R4	R5	R6
■結婚の支障理由に「異性と出会う機会がない」を挙げる人の割合	22.8% (R1)	現状より減少 (R6)	未計測	未計測	未計測	未計測	

指標	当初	目標	R2	R3	R4	R5	R6
■希望の子どもの数を持っていない理由に「子育てや教育にお金がかかる」を挙げる人の割合	60.7% (R1)	現状より減少 (R6)	未計測	未計測	未計測	未計測	

(1) 出会いから始まる婚活の支援

◆ 第1期指標

概要	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	R1	R2
オールふじさき！みんなでアクション！ 出会いから始まる恋物語 地域みんなのサポートで！	■（仮称）ふじさき出会い応援団の構成団体数	（仮称）ふじさき出会い応援団の組織化	10団体 (H32) ※5年で10団体増加	未組織化	未組織化	未組織化	未組織化	未組織化	未組織化

◆ 第1期指標達成状況に対する総括

- ・5年を通して組織化に至らなかったため、総合戦略の推進には有効でなかったと考えられる。
- ・婚姻数増加に向け、周辺市町村とも連携しながら各施策の有効性を見極めつつ、有効と考えられるものに注力していただきたい。

◆ 第2期指標

指標	当初	目標	R2	R3	R4	R5	R6
■婚姻数	58件 (H29)	75件	35件	37件	49件	38件	

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
ひろさき広域出愛サポートセンター事業	【事業の概要】 弘前市が実施している男女の出会い(お見合い)を支援する出愛サポートセンター事業を平成29年度から弘前圏域定住自立圏構成市町村に拡充し、男女の出会いの機会を創出する。また、弘前圏域定住自立圏構成市町村が、結婚を希望しながらも異性と出会うきっかけのない方々に対して、婚活イベント等を開催する。 【取組内容】 会員制の出会いサポート事業。登録したプロフィールをもとに独身男女のマッチング支援を行う。	新規	R2	出愛サポートセンター登録者数(藤崎町)を30人(累計)とする。	出愛サポートセンターに登録し、お見合いをした人数	17人	2人	D	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
		R4-R8	R3	出愛サポートセンター登録者数(藤崎町)を35人(累計)とする。	出愛サポートセンターに登録し、お見合いをした人数	17人	1人	D	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
		ソフト	R4	出愛サポートセンター登録者数(藤崎町)を40人(累計)とする。	出愛サポートセンターに登録し、お見合いをした人数	17人	3人	D	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
		重点(希望)	R5	出愛サポートセンター登録者数(藤崎町)を40人(累計)とする。	出愛サポートセンターに登録し、お見合いをした人数	17人	7人	D	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
		戦略推進係	R6	出愛サポートセンター登録者数(藤崎町)を40人(累計)とする。	出愛サポートセンターに登録し、お見合いをした人数	17人					
			R7								
		総合戦略分類:	③-(1) 出会いから始まる婚活の支援								
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)			
年度	前期基本計画	後期基本計画				※事業費は弘前圏域定住自立圏婚活支援事業負担金のうち、弘前めぐりあいサポーター出愛創出事業市町村負担金分					
	R2	R3	R4	R5	R6	【実績・効果】 ・ひろさき出愛サポートセンター新規登録者数 男性3人・女性2人 計5人					
事業費(千円)	271	289	293	314	381	【今後の取組・方針】 多様な媒体(ポスター、パンフレット、ホームページ、市町村広報、新聞、冊子、ラジオ、SNS、各種広報誌への広告掲載)によるサポートセンターの周知を行い、登録者を募集する。					
国・県支出金											
地方債											
その他											
一般財源	271	289	293	314	381						

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
あおり出会いサポートセンター事業	【事業概要】 少子化の要因の一つである未婚化・非婚化・流れを変えるために、結婚を望む方への機会づくりやウェブサイトによる情報提供等を実施する。 【取組内容】 サポートセンターに婚活イベント情報等を提供し、広く参加希望者への周知を図る。	継続	R2		あおり出会いサポートセンターSNS(Facebook)フォロワー数	250人	221人	A	2	A 総合戦略に有効	
		R4-R8	R3		あおり出会いサポートセンターSNS(Facebook)フォロワー数	250人	233人	A	2	A 総合戦略に有効	
		ソフト	R4		あおり出会いサポートセンターSNS(Facebook)フォロワー数	250人	241人	A	2	A 総合戦略に有効	
		戦略推進係	R5		あおり出会いサポートセンターSNS(Facebook)フォロワー数	250人	252人	A	2	A 総合戦略に有効	
			R6		あおり出会いサポートセンターSNS(Facebook)フォロワー数	250人					
			R7								
		総合戦略分類:	③-(1) 出会いから始まる婚活の支援								
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)			
年度	前期基本計画	後期基本計画				※事業費はあおり出会いサポートセンター共同運営負担金					
	R2	R3	R4	R5	R6	【実績・効果】 SNS(Facebook)フォロワー数が増した。					
事業費(千円)	0	0	35	52	52	【今後の取組・方針等】 あおり出会いサポートセンターに婚活イベント情報等を提供し、広く参加希望者への周知を図る。併せて、令和4年度に県が導入したAIマッチングアプリの周知に努める。					
国・県支出金											
地方債											
その他											
一般財源			35	52	52						

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
ひろさき広域婚活支援事業	【事業概要】 弘前圏域定住自立圏全体で男女の出会いを応援し、晩婚化や未婚化の傾向を解消するために、婚活イベントを開催する。 【取組内容】 弘前圏域構成8市町村で本事業の実行委員会を組織し、婚活イベントを実施する。	継続	R2		婚活イベント参加率(婚活イベントの定員に対する参加者の割合)	80.0%	81.3%	A	2	A 総合戦略に有効	
		R4-R8	R3		婚活イベント参加率(婚活イベントの定員に対する参加者の割合)	85.0%	85.0%	A	2	A 総合戦略に有効	
		ソフト	R4		婚活イベント参加率(婚活イベントの定員に対する参加者の割合)	85.0%	76.9%	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
		戦略推進係	R5		婚活イベント参加率(婚活イベントの定員に対する参加者の割合)	85.0%	81.1%	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
			R6		婚活イベント参加率(婚活イベントの定員に対する参加者の割合)	85.0%					
			R7								
		総合戦略分類:	③-(1) 出会いから始まる婚活の支援								
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)			
年度	前期基本計画	後期基本計画				※事業費は弘前圏域定住自立圏婚活支援事業負担金のうち、ひろさき広域婚活支援事業実行委員会負担金分					
	R2	R3	R4	R5	R6	【実績・効果】 ・魅力アップセミナー&交流会(定員男女各15名) -参加者数:男性11人・女性12人、サポーター:女2人(申込者数 男性16人・女性12人) ・水陸両用バスで絶景遊覧クルージングin西目屋村(定員男女各10名) -参加者数:男性6人・女性4人(申込者数 男性9人・女性4人) -カップル成立数3組 ・運命の出会い 恋するシードルナイト(定員男女各20名) -参加者数:男性20人・女性20人(申込者数 男性94人・女性50人) -カップル成立数7組					
事業費(千円)	55	76	77	62	62	【今後の取組・方針等】 引き続き同様のイベントの周知に努め、参加者の増加を図る。					
国・県支出金											
地方債											
その他											
一般財源	55	76	77	62	62						

(2) 安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり

◆ 第1期指標

オールふじさき！みんなでアクション！	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	R1	R2
子どもたちに笑顔であいさつ！みんなで見守る地域の子育て	■（仮称）ふじさき子育て応援団の構成団体数	（仮称）ふじさき子育て応援団の組織化	30団体 (H32) ※5年で30団体増加	5団体	6団体	6団体	6団体	6団体	7団体

◆ 第1期指標達成状況に対する総括

- ・5年を通して目標には及ばずに成果がなかった。
- ・地域ぐるみで子育てサポートを行う雰囲気が整っていることを町内外に確実にPRすることができるよう、各施策の効果検証および効果的な施策の実施をしていただきたい。

◆ 第2期指標

指標	当初	目標	R2	R3	R4	R5	R6
■子育て支援アプリ利用率 (高校生までの子の保護者)	0% (R1)	70% ※5年で70%増加	22%	28%	31%	22%	

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
放課後児童健全育成事業 総合計画分類: 2-1-(3) 子育て支援の充実 総合戦略分類: ③-(2) 安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり	【事業の概要】 保護者が労働等により居間家庭にいない小学生に対し、授業の終了後等に適切な遊び及び生活の場を与えて、家庭、地域等との連携の下、発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となるよう、当該児童の自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確立等を図り、児童を健全に育成する。 【取組内容】 平成30年度から小学校6年生までの児童を対象として事業を実施する。	継続	R2	学童保育の支援の単位が2となっている施設の統合を検討する。	学童保育登録児童数	350人	395人	A	2	A 総合戦略に有効	
		R4-R8	R3	学童保育の支援の単位が2となっている施設の統合を検討する。	学童保育登録児童数	350人	372人	A	2	A 総合戦略に有効	
		ソフト	R4	学童保育の支援の単位が3となっている施設の統合を検討する。	学童保育登録児童数	350人	331人	A	2	A 総合戦略に有効	
		R5	学童保育の支援の単位が3となっている施設の統合を検討する。	学童保育登録児童数	350人	321人	A	2	A 総合戦略に有効		
		R6	学童保育の支援の単位が3となっている施設の統合を検討する。	学童保育登録児童数	350人						
		子育て支援係	R7								
		事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)	
事業費(千円)	前期基本計画		後期基本計画			【実績・効果】 学童保育の支援の単位が2となっている施設の統合ができなかった。また、常盤小学校学童クラブにおいては、登録児童数の増加に対応するため、支援の単位を2から3に増やした。					
	R2	R3	R4	R5	R6						
事業費(千円)	98,894	61,010	64,189	63,360	67,440	【今後の取組・方針】 現在、藤崎小学校学童クラブは、藤崎小学校併設の学童保育専用室とふれあいずーむ館の2か所(支援の単位が2)で、中央小学校学童クラブは中央小学校併設の学童保育専用室と小学校特別教室の2か所(支援の単位が2)で、常盤小学校学童クラブは、常盤小学校併設の学童保育専用室、常盤生涯学習文化会館、小学校特別教室の3か所(支援の単位が3)で実施している。利用児童の保護者の利便性向上と運営の効率化を図るため、学童クラブの実施場所がそれぞれ1か所(支援の単位が1)とすることができないか検討する。					
国・県支出金	73,888	40,672	42,792	44,588	44,960						
地方債											
その他	21,185	19,116	21,380	18,000							
一般財源	3,821	1,222	17	772	22,480						

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
地域子ども・子育て支援事業 総合計画分類: 2-1-(3) 子育て支援の充実 総合戦略分類: ③-(2) 安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり	【事業の概要】 全ての子どもの健やかな成長のために適切な環境が等しく確保されるよう、地域の実情に応じた子ども及び子どもの保護者に対する支援を行う。 【取組内容】 多様化する子育てニーズに対応したサービスを提供する。	継続	R2	地域子ども・子育て支援事業を5事業以上実施する。	地域子ども・子育て支援事業の実施事業数	5事業以上	8事業	A	2	A 総合戦略に有効	
		R4-R8	R3	地域子ども・子育て支援事業を5事業以上実施する。	地域子ども・子育て支援事業の実施事業数	8事業	9事業	A	2	A 総合戦略に有効	
		ソフト	R4	地域子ども・子育て支援事業を5事業以上実施する。	地域子ども・子育て支援事業の実施事業数	8事業	8事業	A	2	A 総合戦略に有効	
		R5	地域子ども・子育て支援事業を5事業以上実施する。	地域子ども・子育て支援事業の実施事業数	8事業	8事業	A	2	A 総合戦略に有効		
		R6	地域子ども・子育て支援事業を5事業以上実施する。	地域子ども・子育て支援事業の実施事業数	8事業						
		子育て支援係	R7								
		事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)	
年度	前期基本計画		後期基本計画			【実績・効果】 ・延長保育事業 6か所 ・一時預かり事業 2か所 ・地域子育て支援拠点事業 1か所→重層的支援事業へ移行(福祉課所管) ・病児保育事業(病後児対応型) 1か所 ・放課後児童健全育成事業 7か所 ・乳児家庭全戸訪問事業 1か所 ・養育支援訪問事業 1か所 ・利用者支援事業 1か所→重層的支援事業へ移行(福祉課所管) ・子育て短期支援事業 1か所					
	R2	R3	R4	R5	R6						
事業費(千円)	24,776	25,976	38,910	26,908	32,987	【今後の取組・方針】 ニーズの把握に努め、必要に応じて事業を新たに実施する。					
国・県支出金	16,512	18,061	26,683	26,691	21,990						
地方債											
その他											
一般財源	8,264	7,915	12,227	217	10,997						

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
子どもの医療費助成事業 総合計画分類: 2-1-(3) 子育て支援の充実 総合戦略分類: ③-(2) 安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり	【事業の概要】 保護者の所得に関わらず、義務教育終了前児童の医療費を無料化する。 【取組内容】 平成28年6月診療分より所得制限を全廃して医療費助成を行い、子育て支援の推進を図る。	継続	R2	子どもの医療費助成を継続する。	助成件数	29,000件	21,275件	B	2	A 総合戦略に有効	
		R4-R8	R3	子どもの医療費助成を継続する。	助成件数	29,000件	25,207件	A	2	A 総合戦略に有効	
		ソフト	R4	子どもの医療費助成を継続する。	助成件数	29,000件	26,785件	A	2	A 総合戦略に有効	
		重点(希望)	R5	子どもの医療費助成を継続する。	助成件数	29,000件	27,978件	A	1	A 総合戦略に有効	
		R6	子どもの医療費助成を継続する。	助成件数	29,000件						
		子育て支援係	R7								
		事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)	
年度	前期基本計画		後期基本計画			【実績・実績】 ・乳幼児医療給付対象者 589人、子ども医療給付対象者1,066人 ※ひとり親医療費対象者を除く。 ・令和5年度乳幼児及び子ども医療費給付額 57,449,851円 (うち令和5年度乳幼児はつつ事業費補助金 10,717,833円)					
	R2	R3	R4	R5	R6						
事業費(千円)	43,123	47,888	49,660	47,914	55,974	【今後の取組・方針】 子ども医療費無料化の対象者を中学生から18歳までへ拡充する。					
国・県支出金	7,996	9,815	10,474	9,695	11,010						
地方債											
その他		25,000	25,000								
一般財源	35,127	13,073	14,186	38,219	44,964						

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
出産祝い支給事業	【事業の概要】 第3子以降の出産時に祝金を支給する。 【取組内容】 藤崎町に引き続き3年以上住所を有し、第2子までの子と生計を同じくしている父母へ、第3子以上の出産時に支給する。	継続	R2	出産祝金の支給決定件数を17件とする。	支給者数	17人	19人	A	2	A 総合戦略に有効	
		R4-R8	R3	出産祝金の支給決定件数を18件とする。	支給者数	18人	11人	C	2	A 総合戦略に有効	
		ソフト	R4	出産祝金の支給決定件数を18件とする。	支給者数	18人	18人	A	2	A 総合戦略に有効	
		重点(希望)	R5	出産祝金の支給決定件数を18件とする。	支給者数	18人	12人	A	2	A 総合戦略に有効	
			R6	出産祝金の支給決定件数を18件とする。	支給者数	18人					
		子育て支援係	R7								
総合計画分類: 2-1-(3) 子育て支援の充実											
総合戦略分類: ③-(2) 安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり											
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)			
年度	前期基本計画	後期基本計画				【実績・効果】 ・第3子以降の祝金対象児が12人であった。 @100,000円×12人=1,200,000円 【今後の取組・方針】 引き続き第3子以降の対象児に祝金を支給する。					
	R2	R3	R4	R5	R6						
事業費(千円)	1,900	1,100	1,800	1,800	1,800						
国・県支出金											
地方債											
その他											
一般財源	1,900	1,100	1,800	1,800	1,800						

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
ふじさき子育て応援団事業	【事業の概要】 子育て家庭にやさしい設備・うれしいサービスの提供など、子育て家庭を応援する取り組みを行っている町内の事業所・団体等をホームページで紹介するなど、みんなで子育て応援の輪を広げる。 【取組内容】 子育てに優しい設備・うれしいサービスの提供など、子育て家庭を応援する取組みを行っている事業所・団体を本格的に募集し、子育てウェブサイトで情報提供する。	継続	R2	子育て応援団登録事業所数を10事業所(累計)とする。	子育て応援団登録事業所数	10団体	7団体	D	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
		R4-R8	R3	子育て応援団登録事業所数を10事業所(累計)とする。	子育て応援団登録事業所数	10団体	7団体	D	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
		ソフト	R4	子育て応援団登録事業所数を10事業所(累計)とする。	子育て応援団登録事業所数	10団体	7団体	D	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
		重点(希望)	R5	子育て応援団登録事業所数を10事業所(累計)とする。	子育て応援団登録事業所数	10団体	6団体	D	3	B 総合戦略にわずかだが有効	
			R6	子育て応援団登録事業所数を10事業所(累計)とする。	子育て応援団登録事業所数	10団体					
		子育て支援係	R7								
総合計画分類: 2-1-(4) 子育てしやすい環境づくりの推進											
総合戦略分類: ③-(2) 安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり											
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)			
年度	前期基本計画	後期基本計画				【実績・効果】 ・店舗訪問をしたが、店側のメリットをあまりPRできず、新規登録につながらなかった。 【今後の取組・方針】 ・店舗訪問を続け、新規登録の増に努めるほか、すでに登録している事業所の声を聞く場を設け、事業内容の見直しについても検討したい。					
	R2	R3	R4	R5	R6						
事業費(千円)	12	12	12	12	12						
国・県支出金											
地方債											
その他											
一般財源	12	12	12	12	12						
					(高谷委員) 事業内容の見直しが必要である。	(住民課子育て支援係) 事業の見直しについては担当としても考えているところである。現状のままでは町も登録団体も事業の良さが見出せないため、登録団体から意見を聞く場を設けたい。					

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
すこやか健診(相談)事業	【事業の概要】 低体重出生の原因となりやすいハイリスク妊婦に対する訪問指導の強化と離乳食期乳児の健診・訪問指導の強化により、継続的な指導体制を確立する。更には乳幼児期から児童期、青年期に渡り継続的に利用できる子どもノートを使用し健康教育を実施する。 【取組内容】 乳児期に規則的な生活習慣が確立できるように健診(相談)を充実させる。	継続	R2	毎年度、すこやか健診受診率を伸ばし、受診率95%を目指す。	すこやか健診受診率(乳児健診)	95.0%	91.7%	A	2	A 総合戦略に有効	
		R4-R8	R3	毎年度、すこやか健診受診率を伸ばし、受診率95%を目指す。	すこやか健診受診率(乳児健診)	95.0%	100%	A	2	A 総合戦略に有効	
		ソフト	R4	毎年度、すこやか健診受診率を伸ばし、受診率95%を目指す。	すこやか健診受診率(乳児健診)	95.0%	100%	A	2	A 総合戦略に有効	
			R5	毎年度、すこやか健診受診率を伸ばし、受診率95%を目指す。	すこやか健診受診率(乳児健診)	95.0%	100%	A	2	A 総合戦略に有効	
			R6	毎年度、すこやか健診受診率を伸ばし、受診率95%を目指す。	すこやか健診受診率(乳児健診)	95.0%					
		健康係	R7								
総合計画分類: 2-1-(2) 妊娠・出産への支援											
総合戦略分類: ③-(2) 安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり											
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)			
年度	前期基本計画	後期基本計画				【実績・効果】 令和5年度乳児健診受診率100% 【今後の取組・方針】 継続して高い受診率を維持し、継続的な指導体制の確立を図る。また、公認心理師による心理検査と助言を実施する。					
	R2	R3	R4	R5	R6						
事業費(千円)	2,022	1,980	1,980	1,980	1,980						
国・県支出金	22										
地方債											
その他											
一般財源	2,000	1,980	1,980	1,980	1,980						

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
放課後子ども教室推進事業	【事業の概要】 子どもたちの学びの場・遊びの場・地域のひととの交流の場として、土曜日を中心に児童生徒を対象にスポーツ・文化活動教室を開催。 【取組内容】 町内2ヶ所で、わんぱく広場や子どもふれあい教室を開催し、学習・体験交流の機会を定期的に設けている。	継続	R2	学習・体験・交流活動の機会を定期的に提供。	わんぱく教室・子どもふれあい教室参加児童数	1,000人	322人	C	2	A 総合戦略に有効	
		R4-R8	R3	学習・体験・交流活動の機会を定期的に提供。	わんぱく教室・子どもふれあい教室参加児童数	1,000人	223人	C	2	A 総合戦略に有効	
		ソフト	R4	学習・体験・交流活動の機会を定期的に提供。	わんぱく教室・子どもふれあい教室参加児童数	600人	326人	B	2	A 総合戦略に有効	
		R5	学習・体験・交流活動の機会を定期的に提供。	わんぱく教室・子どもふれあい教室参加児童数	600人	409人	B	2	A 総合戦略に有効		
		R6	学習・体験・交流活動の機会を定期的に提供。	わんぱく教室・子どもふれあい教室参加児童数	500人						
		文化振興係	R7								
総合計画分類:	3-2-(3) 青少年交流活動の充実										
総合戦略分類:	③-(2) 安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり										
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)			
年度	前期基本計画	後期基本計画				【実績】 ○実施期間…令和5年6月～令和6年2月 ※わんぱく広場(藤崎地区)…23教室実施(参加者数:297人) (人気教室…料理教室(募集・参加人数:33人)・室内サッカー教室(募集・参加人数:14人)) ※子どもふれあい教室(常盤地区)…14教室実施(参加者数:112人) (人気教室…将棋教室(募集・参加人数:28人)・ユニカル教室(募集・参加人数:12人)) 【今後の取組】 ○子どもの接し方・学習・体験活動等の企画・実施方策、安全・健康管理方策等の資質の更なる向上を目指し、また、他の事業関係者等との情報交換等を図る。					
	R2	R3	R4	R5	R6						
事業費(千円)	458	459	424	418	463						
国・県支出金	0	0									
地方債											
その他											
一般財源	458	459	424	418	463						

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
ひとり親家庭等医療費助成事業	【事業の概要】 ひとり親家庭に対して、医療費の一部負担金(18歳未満の児童は全額、保護者は月1,000円超分)を助成する。 【取組内容】 ひとり親家庭への支援充実のために、医療費の助成を行う。	継続	R2	医療費助成によるひとり親家庭への子育て支援を継続する。	助成件数	5,000件	4,263件	B	2	A 総合戦略に有効	
		R4-R8	R3	医療費助成によるひとり親家庭への子育て支援を継続する。	助成件数	5,000件	4,154件	A	2	A 総合戦略に有効	
		ソフト	R4	医療費助成によるひとり親家庭への子育て支援を継続する。	助成件数	5,000件	3,682件	A	2	A 総合戦略に有効	
		R5	医療費助成によるひとり親家庭への子育て支援を継続する。	助成件数	5,000件	3,789件	A	2	A 総合戦略に有効		
		R6	医療費助成によるひとり親家庭への子育て支援を継続する。	助成件数	5,000件						
		子育て支援係	R7								
総合計画分類:	2-1-(6) ひとり親家庭への支援充実										
総合戦略分類:	③-(2) 安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり										
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)			
年度	前期基本計画	後期基本計画				【実績・効果】 対象給付者数341人(保護者141人・児童200人) 助成額 9,835,015円 【今後の取組・方針】 引き続きひとり親家庭への医療費助成を継続する。					
	R2	R3	R4	R5	R6						
事業費(千円)	9,809	9,678	10,447	9,835	9,782						
国・県支出金	4,738	4,449	5,003	4,917	4,891						
地方債											
その他											
一般財源	5,071	5,229	5,444	4,918	4,891						

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
ふじさき子育て支援アプリ事業	【事業概要】 安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくりのため、『ふじさき子育て支援アプリ「母子モ」』により町民にサービスを提供する。 【取組内容】 町が交付する母子健康手帳と併用して利用する電子母子手帳の機能を提供する。 町の子育て支援情報をプッシュ通知によりお知らせする。	継続	R2	アプリの利用率(高校生のまでの子の保護者)を30%とする。	アプリの利用率(高校生のまでの子の保護者)	30%	22%	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
		R4-R8	R3	アプリの利用率(高校生のまでの子の保護者)を40%とする。	アプリの利用率(高校生のまでの子の保護者)	40%	28%	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
		ソフト	R4	アプリの利用率(高校生までの子の保護者)を40%とする。	アプリの利用率(高校生のまでの子の保護者)	40%	31%	B	3	B 総合戦略にわずかだが有効	
		R5	アプリの利用率(高校生までの子の保護者)を40%とする。	アプリの利用率(高校生のまでの子の保護者)	40%	22%	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効		
		R6	アプリの利用率(高校生までの子の保護者)を40%とする。	アプリの利用率(高校生のまでの子の保護者)	40%						
		子育て支援係	R7								
総合計画分類:	③-(2) 安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり										
総合戦略分類:	③-(2) 安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり										
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)			
年度	前期基本計画	後期基本計画				【実績・効果】 令和5年度登録者数 466人 【今後の取組・方針等】 利用率が向上するよう、子育て支援情報の提供に努める。 広報に掲載するなど、アプリについて周知をはかりたい。					
	R2	R3	R4	R5	R6						
事業費(千円)	396	396	396	396	396						
国・県支出金	264	264	264	264	264						
地方債											
その他											
一般財源	132	132	132	132	132						

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
不妊治療費助成事業	【事業の概要】 不妊治療に必要な治療費に係る経済的負担を軽減するため、青森県不妊治療費助成金事業を活用し、公的医療保険等の自己負担額分について町が全額助成を行う。 【取組内容】 不妊治療の助成を実施し、出生数の増加を図り、少子化対策の一助とする。	継続	R2	助成を行うことにより、出生率の増加を図り、もって少子化対策の一助とする。	特定不妊治療の助成件数	15件	16件	A	2	A 総合戦略に有効	
		R4-R8	R3	助成を行うことにより、出生率の増加を図り、もって少子化対策の一助とする。	特定不妊治療の助成件数	18件	25件	A	2	A 総合戦略に有効	
		ソフト	R4	保険適用となったため経過措置の運用	特定不妊治療の助成件数	21件	10件	A	3	A 総合戦略に有効	
		重点(希望)	R5	保険適用となったため経過措置の運用	特定不妊治療の助成件数	5件	0件	A	3	A 総合戦略に有効	
			R6	助成を行うことにより、出生率の増加を図り、もって少子化対策の一助とする。	不妊治療の助成件数	15件					
		健康係	R6								
総合計画分類:	2-1-(2) 妊娠・出産への支援										
総合戦略分類:	③-(2) 安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり										
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)			
年度	前期基本計画	後期基本計画				【実績・効果】 本事業により妊娠・出産につながった。					
	R2	R3	R4	R5	R6	【今後の取組】 ※令和5年度までは「特定不妊治療費助成事業」(旧事業)の経過措置の運用であったが、助成申請がなかった。 ※令和6年度からは「青森県不妊治療費助成金事業」(新事業)を活用し、公的医療保険の自己負担額分等について町が全額助成を行う。					
事業費(千円)	500	1,188	500	0	1,523						
国・県支出金											
地方債											
その他											
一般財源	787	1,188	500	0	1,523						

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
予防接種率向上事業	【事業の概要】 未だ罹患が懸念されるが定期接種となっていないおたふくかぜと、4～10歳に抗体の減衰が見られる不活化ポリオの追加予防接種を行う。 【取組内容】 おたふく風邪5,000円を2回、不活化ポリオ上限10,422円の予防接種助成を個別通知や勧奨を行いながら実施する。	継続	R2	定期接種化に追加されるまで、予防接種助成を行う。	予防接種率(おたふく風邪)	80%	66.7%	B	2	A 総合戦略に有効	
		R4-R8	R3	定期接種化に追加されるまで、予防接種助成を行う。	予防接種率(おたふく風邪)	80%	70.94%	B	2	A 総合戦略に有効	
		ソフト	R4	定期接種化に追加されるまで、予防接種助成を行う。	予防接種率(おたふく風邪)	80%	63.78%	B	2	A 総合戦略に有効	
			R5	定期接種化に追加されるまで、予防接種助成を行う。	予防接種率(おたふく風邪)	80%	75%	B	2	A 総合戦略に有効	
			R6	定期接種化に追加されるまで、予防接種助成を行う。	予防接種率(おたふく風邪)	80%					
		健康係	R7								
総合計画分類:	2-6-(2) 各世代における健康づくりの推進										
総合戦略分類:	③-(2) 安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり										
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)			
年度	前期基本計画	後期基本計画				【実績・効果】 おたふく(1歳～3歳未満) 接種率75% 不活化ポリオ 接種率80%					
	R2	R3	R4	R5	R6	【今後の取組・方針】 定期の予防接種と同様に対象者に対して事業の周知を図り、接種勧奨をする。					
事業費(千円)	1,674	1,294	1,774	1,438	1,961						
国・県支出金											
地方債											
その他											
一般財源	1,674	1,294	1,774	1,438	1,961						

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
すくすく子育ておむつ等購入費助成事業	【事業概要】 子育て家庭の経済的負担を軽減し、子育て支援及び少子化対策を図ることを目的に子育てに必要なおむつ等の購入費用の一部を助成する。 【取組内容】 ・町内に住所を有する2歳未満の乳幼児を養育する保護者を対象に、乳幼児1人につき2万円分のおむつ等購入費助成券を交付する。	新規	R2								
		R5-R8	R3								
		ソフト	R4								
			R5	利用率95%以上とする。	助成券利用率	95.0%	98.8%	A	2	A 総合戦略に有効	
			R6	利用率95%以上とする。	助成券利用率	95.0%					
		子育て支援係	R7								
総合計画分類:	2-1-(3) 子育て支援の充実										
総合戦略分類:	③-(2) 安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり										
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)			
年度	前期基本計画	後期基本計画				【実績・効果】 令和5年度助成券利用率 98.8% (交付人数284名、交付枚数5,680枚、回収枚数5,614枚)					
	R2	R3	R4	R5	R6	【今後の取組・方針等】 95%以上の利用率を維持できるよう、広報に掲載するなど、引き続き事業の周知をはかりたい。					
事業費(千円)				5,614	4,400						
国・県支出金											
地方債											
その他											
一般財源				5,614	4,400						

<基本目標4> いきいきと活力ある“まち”を創生する

◆ 第1期指標

概要	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	R1	R2
若者のまちづくりへの参画促進によるコミュニティ活性化、町民の主体的健康づくりと食生活改善、安心して快適に暮らせるまちづくりなど、地域資源や人材を活かした施策連携により、いきいきと活力あるまちを創生し、みんなが心豊かに共生できるまちづくりを推進する。	■町平均寿命 男性は全国との格差縮小 女性は現状維持 ※5年毎公表	男性77.5歳 女性86.4歳 (H22町)	男性79.6歳 女性86.4歳 (H22全国)	男性78.5歳 女性85.4歳 (市町村別生命表)	—	—	—	—	調査結果待ち (市町村別生命表)
	■公共施設巡回バス利用者	24,901人 (H24)	26,800人 (H32) ※5年で7%増加	23,029人	24,179人	23,549人	24,798人	25,072人	23,051人

◆ 第1期指標達成状況に対する総括

・町平均寿命は5年間の変化からは各施策による効果が出ていると明確には言えないところとなっており、今後は各施策の効果がはっきり実績に表れるよう施策を実施していただきたい。（注）
 ・バス利用者数はじわじわと伸びていたが、最終年度はコロナ禍の特殊な事情で当初実績より下回った状況となっているので、引き続き利便性の向上などにも着目し、個別の施策を継続していただきたい。

（注）第1期町総合戦略総括（町平均寿命）は、R2実績値がR5頃まで公表されないのので、H27実績値がR2時点でも継続しているという想定で評価しております。

◆ 第2期指標

指標	当初	目標	R2	R3	R4	R5	R6
■町平均寿命 ※5年毎公表	男性78.5歳 女性85.4歳 (H27町)	男性80.8歳 女性87.0歳 (H27全国との格差縮小)	男性79.9歳 女性86.2歳	—	—	—	—

(1) みんなのまちづくり活動の支援

◆ 第1期指標

オールふじさき！みんなでアクション！	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	R1	R2
まちづくりの第一歩 ボランティアにみんなで参加！	■ふじさき地域活性化助成事業活用団体数	7団体 (H26)	12団体 (H32) ※5年で5団体増加	9団体	9団体	11団体	13団体	12団体	7団体

◆ 第1期指標達成状況に対する総括

・最終年度はコロナ禍という特殊な事情のため、目標値を下回る結果となったが、平成30年度から目標値は達成していて、町民の自主的なまちづくりに大いに貢献していたと考えられる。
 ・引き続きコロナ禍でも実施可能なまちづくりのため、施策を継続して町民をサポートしていただきたい。

◆ 第2期指標

指標	当初	目標	R2	R3	R4	R5	R6
■ふじさき地域活性化助成事業活用団体数	12団体 (R1)	17団体 ※5年で5団体増加	7団体	8団体	8団体	5団体	

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価			
コミュニティ助成事業	住み良い地域環境づくりの推進及び地域住民の連携意識の高揚、また、世代間交流を図るために、コミュニティ助成の事業を活用し、ソフト事業やコミュニティ施設整備関連に資することで、コミュニティ活動の活性化を図る。	継続	R2	コミュニティ助成の申請合計を6件とする。	助成事業申請団体数	6件	3件	C	2	B 総合戦略にわずかだが有効			
		R4-R8	R3	コミュニティ助成の申請合計を6件とする。	助成事業申請団体数	6件	4件	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効			
		ソフト	R4	コミュニティ助成の申請合計を6件とする。	助成事業申請団体数	6件	3件	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効			
			R5	コミュニティ助成の申請合計を6件とする。	助成事業申請団体数	6件	5件	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効			
			R6	コミュニティ助成の申請合計を6件とする。	助成事業申請団体数	6件							
		企画調整係	R7										
総合計画分類:	6-3-(2) コミュニティ意識の醸成から浸透へ												
総合戦略分類:	④-(1) みんなのまちづくり活動の支援												
事業費(千円)			【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)		総合計画審議会コメント		総合戦略会議コメント		外部評価を受けた対応(担当課)	
年度	前期基本計画		後期基本計画			【実績・効果】 実績:令和5年度申請件数は5件(採択は0件) ※令和5年度は今まで認められていた各集会施設へのエアコンの設置が認められなかったため採択0件となった。 【今後の取組・方針等】 令和6年度の採択要件を正確に把握し、各町内会へ周知し募集をする。				(成田委員) 採択0件についての詳しい理由はどのようなものか。 (三上委員) 申請しやすいように採択要件等を詳しく説明するべき。申請書等の作成方法も詳しく指導してほしい。		(経営戦略課企画調整係) 令和4年度までは集会施設へのエアコン設置が認められていたが、令和5年度から認められなくなったため、採択が0件となっている。 採択要件については毎年説明していたが、エアコン設置が不採択になることが事前に周知されていなかったため困惑した。今年度からは、エアコン等の採択要件を事前に確認し周知していく。また、申請書の作成についても引き続きサポートしていく。	
事業費(千円)	3,800	7,400	3,700	2,500	0								
国・県支出金													
地方債													
その他	3,800	7,400	3,700	2,500	0								
一般財源													

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価			
ふじさき地域活性化助成金事業	地域活性化のための取組を支援するため、町内会等の団体が実施する新たなまちづくり・地域づくり活動に対して助成金を交付する。	継続	R2	助成金活用団体を前年比1団体増とする。(14団体)	助成金活用団体数	14団体	7団体	C	2	A 総合戦略に有効			
		R4-R8	R3	助成金活用団体を前年比1団体増とする。(8団体)	助成金活用団体数	8団体	8団体	A	2	A 総合戦略に有効			
		ソフト	R4	助成金活用団体を前年比1団体増とする。(9団体)	助成金活用団体数	9団体	8団体	B	2	A 総合戦略に有効			
		重点(協働)	R5	助成金活用団体を前年比1団体増とする。(9団体)	助成金活用団体数	9団体	5団体	C	2	A 総合戦略に有効			
			R6	助成金活用団体を前年比1団体増とする。(6団体)	助成金活用団体数	6団体							
		企画調整係	R7										
総合計画分類:	6-3-(3) まちづくり・地域づくり団体の育成支援												
総合戦略分類:	④-(1) みんなのまちづくり活動の支援												
事業費(千円)			【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)		総合計画審議会コメント		総合戦略会議コメント		外部評価を受けた対応(担当課)	
年度	前期基本計画		後期基本計画			【実績・効果】 5団体が申請し事業を実施した。 【今後の取組・方針等】 活性化助成金を有効に活用してもらうため、周知活動の強化とともに、地域の課題解決に向けた取組であることを周知する。 また、助成金の活用を足がかりに、自立、発展した活動ができるように団体の活動を支援する。				(三上委員) コロナ禍により様々な団体の活動が縮小したのは残念である。 地域おこし協力隊などの若い力で、新しい活動を築いてほしい。		(経営戦略課企画調整係) 地域おこし協力隊などに声がけするなど、新たな活動団体が増えるよう努めていきたい。	
事業費(千円)	1,495	1,560	1,465	801	2,900								
国・県支出金													
地方債													
その他													
一般財源	1,495	1,560	1,465	801	2,900								

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
広聴活動充実事業 (まちづくり座談会事業)	座談会を開催し地域の要望、課題解決に向けた取組を構築する。また、担当課へ情報共有し、その対応については連携して取り組むほか、広報紙等で内容を公開する。	継続	R2	座談会を年1回(2箇所)で開催する。	座談会開催回数	1回/2箇所	0回	E	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
		R4-R8	R3	座談会を年1回(2箇所)で開催する。	座談会開催回数	1回/2箇所	0回	E	2	A 総合戦略に有効	
		ソフト	R4	座談会を年1回(2箇所)で開催する。	座談会開催回数	1回/2箇所	1回/4箇所	A	2	A 総合戦略に有効	
			R5	座談会を年1回(2箇所)で開催する。	座談会開催回数	1回/2箇所	0回	E	2	A 総合戦略に有効	
			R6	座談会を年1回以上開催する。	座談会開催回数	1回以上					
		企画調整係	R7								
総合計画分類:	6-4-(2) 広聴活動の充実										
総合戦略分類:	④-(1) みんなのまちづくり活動の支援										
事業費(千円)			【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)		
年度	前期基本計画		後期基本計画			事業費は、まちづくり座談会食料費(お茶代) 【実績・効果】 R5年度は町長との日程が合わず開催できなかった。 【今後の取組・方針等】 多くの方に参加してもらえるような開催時期、場所、開催方法を考慮した上で、周知方法も検討する。 町ができること、地域ができることを共通認識し、町づくりの活性化につながるような座談会にしていきたい。 開催後の意見・要望等の取りまとめ、担当課の対応等の公表について検討する。					
	R2	R3	R4	R5	R6						
事業費(千円)	0	0	10	0	11						
国・県支出金											
地方債											
その他											
一般財源	0	0	10	0	11						

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価
各種審議会委員公募事業	各種行政分野の施策形成に関し、広く住民の意見を取り入れるために、一般公募により各種審議会等委員へ登用する。	継続	R2	当該年度で募集する公募委員について、広報紙で募集する。	公募委員数	2人	2人	A	2	A 総合戦略に有効
		R4-R8	R3	当該年度で募集する公募委員について、広報紙で募集する。	公募委員数	0人	0人	E	2	
		ソフト	R4	当該年度で募集する公募委員について、広報紙で募集する。	公募委員数	2人	0人	E	2	A 総合戦略に有効
			R5	当該年度で募集する公募委員について、広報紙で募集する。	公募委員数	0人	0人	E	2	A 総合戦略に有効
			R6	当該年度で募集する公募委員について、広報紙で募集する。	公募委員数	2人				
		企画調整係	R7							
総合計画分類:	6-2-(1) まちづくりへの住民参画の推進									
総合戦略分類:	④-(1) みんなのまちづくり活動の支援									
事業費(千円)			【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)	
年度	前期基本計画		後期基本計画			【実績・効果】 令和4年度に該当する「総合計画審議会」「商工業振興審議会」において各1名募集したが応募者がいなかった。 【今後の取組・方針等】 公募の対象となる審議会においては、効果的な募集の取組を継続する。				
	R2	R3	R4	R5	R6					
事業費(千円)	0	0	0	0	0					
国・県支出金										
地方債										
その他										
一般財源	0	0	0	0	0					

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価
ボランティア連絡協議会補助事業	【事業の概要】 ボランティア連絡協議会への補助 地域のボランティア活動の活性化を目的に個々の生きがいや潤いのある生活、活気ある「まちづくり」のための事業を推進する。 【取組内容】 ボランティア連絡協議会の活動を強化するために、活動費の補助を行い、ボランティア活動の活性化を図る。	継続	R2	ボランティア登録者数を現状維持とする。	ボランティア登録者数	3,600人	3,333人	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効
		R4-R8	R3	ボランティア登録者数を現状維持とする。	ボランティア登録者数	3,600人	3,252人	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効
		ソフト	R4	ボランティア登録者数を現状維持とする。	ボランティア登録者数	3,600人	3,010人	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効
			R5	ボランティア登録者数を現状維持とする。	ボランティア登録者数	3,600人	2,929人	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効
			R6	ボランティア登録者数を現状維持とする。	ボランティア登録者数	3,600人				
		福祉係	R7							
総合計画分類:	6-3-(1) ボランティア活動の支援強化									
総合戦略分類:	④-(1) みんなのまちづくり活動の支援									
事業費(千円)			【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)	
年度	前期基本計画		後期基本計画			【実績・効果】 主な活動 クリーンロード作戦 (参考)R5クリーンロード作戦実績 回収ボランティア 22人 ゴミ袋数 424袋 総重量1,590kg ※R4よりボランティア登録者数の集計なし。 【今後の取組・方針】 新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、事業を継続する。				
	R2	R3	R4	R5	R6					
事業費(千円)	80	69	61	80	80					
国・県支出金										
地方債										
その他										
一般財源	80	69	61	80	80					

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
老人クラブ補助金	老人クラブ活動に対する補助 高齢者の生きがいや健康づくりを推進することにより、行政と協働し、明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上に資することを目的とする。	継続	R2	老人クラブ会員の増及び自主事業充実のために支援する。	老人クラブ会員数	1,510人	1,261人	B	2	A 総合戦略に有効	
		R4-R8	R3	老人クラブ会員の増及び自主事業充実のために支援する。	老人クラブ会員数	1,510人	1,200人	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
		ソフト	R4	老人クラブ会員の増及び自主事業充実のために支援する。	老人クラブ会員数	1,510人	1,071人	B	2	A 総合戦略に有効	
		重点(協働)	R5	老人クラブ会員の維持及び自主事業充実のために支援する。	老人クラブ会員数	1,000人	933人	B	2	A 総合戦略に有効	
			R6	老人クラブ会員の維持及び自主事業充実のために支援する。	老人クラブ会員数	1,000人					
		福祉係	R7								
		総合計画分類: 2-2-(1) 高齢者の社会参加・生きがいづくり、居場所づくり	総合戦略分類: ④-(1) みんなのまちづくり活動の支援								
事業費(千円)			【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)		庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)			
年度	前期基本計画	後期基本計画	【実績・効果】 老人クラブ連合会は健老事業等により積極的に高齢者の福祉増進に努力した。 ※R6.4現在 単位 33クラブ(3老人クラブの休止による)朝日町、下町、新町			3老人クラブの休止は後継者不足のため。					
	R2	R3	R4	R5	R6						
事業費(千円)	3,263	3,485	3,544	3,466	3,507						
国・県支出金	1,488	1,525	1,519	1,467	1,467						
地方債											
その他											
一般財源	1,775	1,960	2,025	1,999	2,040						

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
【地域支援事業】 介護予防・日常生活支援総合事業	高齢者の多様な介護予防・生活支援ニーズに対応し、町の実情に応じた多様なサービスを創出して提供する。そして、要支援者から一般高齢者まで分け隔てなくサービスを提供できるようにすることで自立を促す。サービスの提供団体は、従来の介護事業所に加えて、町内会、老人クラブ、ボランティア団体、NPO法人等の地域活動団体が、地域の自助、互助機能を活用し協働で参画する。	継続	R2	介護予防教室の参加者 200人	介護教室参加者数	200人	194人	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
		R4-R8	R3	介護予防教室の参加者 200人	介護教室参加者数	200人	139人	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
		ソフト	R4	介護予防教室の参加者 200人	介護教室参加者数	200人	172人	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
		重点(協働)	R5	介護予防教室の参加者 200人	介護教室参加者数	200人	330人	A	2	A 総合戦略に有効	
			R6	介護予防教室の参加者 200人	介護教室参加者数	250人					
		介護保険係	R7								
		総合計画分類: 2-2-(2) 介護予防・日常生活支援総合事業の充実	総合戦略分類: ④-(1) みんなのまちづくり活動の支援								
事業費(千円)			【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)		庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)			
年度	前期基本計画	後期基本計画	【実績・効果】 H29.11に新しい総合事業へ移行後、訪問型サービスや通所型サービスの第1号事業、筋力あぶ教室、脳トレ教室、げんき教室、にこにこわいわい健康教室等の介護予防事業や地域サロン等の集いの場を実施し、利用者の介護予防等を図っている。 目標については、総合戦略と同様とし、数値目標により達成度を明確をわかりやすくする。各教室の参加実人数である(教室毎の重複は考慮しない)			実績値が倍近くまで増加したのは、コロナが治まり始めて外出する人が増えたからではないか。今年度の目標値も50人増とする。			(三上委員) 様々な教室やサロン等に出席している高齢者は、比較的元気な方が多い。参加者が固定化しないようにPRしていきたい。地域サロンは役場周辺での開催に参加出来ない方が多く参加しているため、必要であると感じている。	(福祉課介護保険係) 介護予防教室や地域サロンへの参加者が固定化されないように、これからも広報や町ホームページでPRしていきます。また、地域サロンの実施団体の増加を図るため、普及啓発活動に取り組みます。	
	R2	R3	R4	R5	R6						
事業費(千円)	55,314	55,314	44,413	43,274	51,100						
国・県支出金	20,743	20,743	17,042	14,064	16,607						
地方債											
その他	21,849	21,849	16,973	19,257	22,740						
一般財源	12,722	12,722	10,398	9,953	11,753						

(2) いきいき健康づくりの推進

◆ 第1期指標

オールふじさき！みんなでアクション！	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	R1	R2
毎日がチャレンジデー！みんなで1日15分の運動！	■スポーツプラザ藤崎利用者数	66,421人 (H26)	70,000人 (H32) ※5年で5%増加	44,271人	72,203人	54,943人	53,169人	46,403人	29,802人

◆ 第1期指標達成状況に対する総括

- ・5年間で目標値を達成しているのが平成28年度のみであることから、成果が現れていない。
- ・スポーツプラザの利用促進に限らず総合的な施策実施により町民の健康づくりの意識醸成がさらに必要と考えられる。

◆ 第2期指標

指標	当初	目標	R2	R3	R4	R5	R6
■ふじさきいきいきスポーツクラブ参加者数	5,723人 (R1) ※イベント参加者含む	6,009人 ※5年で5%増加	3,370人	2,924人	4,229人	4,568人	

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価		
各種健康診査・保健指導事業	【事業概要】 生活習慣病を中心とした疾病の早期発見・早期予防並びに町民の健康保持増進を図るため特定健診等を行い、適切な指導により早期改善・早期治療にむすびつける。 【取組内容】 広報等に加え、健康推進員を通じた受診勧奨を実施する。	継続	R2	特定健診受診率を54%とする。	特定健診受診率	54.0%	36.1%	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効		
		R4-R8	R3	特定健診受診率を56%とする。	特定健診受診率	56.0%	38.1%	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効		
		ソフト	R4	特定健診受診率を56%とする。	特定健診受診率	56.0%	37.1%	B	3	B 総合戦略にわずかだが有効		
		R5	特定健診受診率を56%とする。	特定健診受診率	56.0%	39.3%	B	3	B 総合戦略にわずかだが有効			
		R6	特定健診受診率を56%とする。	特定健診受診率	56.0%							
総合計画分類:	2-6-(2) 各世代における健康づくりの推進											
総合戦略分類:	④-(2) いきいき健康づくりの推進	健康係	R7									
事業費(千円)			【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)				庁内ヒアリング結果(経営戦略課)		総合計画審議会コメント		総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)
年度	前期基本計画		後期基本計画			【実績・効果】 R5年度推計値39.3% 適切な指導により早期改善・治療にむすびつけた。						
	R2	R3	R4	R5	R6	【今後の取組】 国の目標60%を目指すとともに、精密検査についても受診率を上げていく。 ※5年度実績はまだ未確定						
事業費(千円)	12,408	12,153	12,934	14,107	14,107							
国・県支出金	4,634	5,094	5,117	5,447	5,447							
地方債												
その他												
一般財源	7,774	7,259	7,817	10,389	10,389							

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価		
健康相談及び健康教育事業	【事業概要】 町の健康課題(肥満、糖尿病、高血圧等)の予防のため、糖尿病や循環器疾患の予防をテーマとした健康教育をわくわく講座、地区健康教育、栄養教室として行う。 【取組内容】 健康講座及び健康相談を実施し、生活習慣病予防に努める。	継続	R2	3件以上の地域事業を行う。	地域事業件数	3件	0件	D	2	B 総合戦略にわずかだが有効		
		R4-R8	R3	3件以上の地域事業を行う。	地域事業件数	3件	2件	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効		
		ソフト	R4	3件以上の地域事業を行う。	地域事業件数	3件	4件	A	2	A 総合戦略に有効		
		R5	地区健康教育及びわくわく講座、栄養教室を行う。	開催回数	6回	10回	A	2	A 総合戦略に有効			
		R6	地区健康教育及びわくわく講座、栄養教室を行う。	開催回数	8回							
総合計画分類:	2-6-(1) 住民主体の健康づくり体制の確立											
総合戦略分類:	④-(2) いきいき健康づくりの推進	健康係	R7									
事業費(千円)			【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)				庁内ヒアリング結果(経営戦略課)		総合計画審議会コメント		総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)
年度	前期基本計画		後期基本計画			【実績・効果】 R5年度実績 ・地区健康教育(4回、亀田、矢沢、館川町、水木)で「熱中症予防と生活習慣病」、「メタボについて考える」、「健康づくりに関する話題提供について」、「がんで亡くならないために」の内容で実施。 ・わくわく講座(3回、明徳中、※ずーむ館×2)で「がんと命」、「秋のたいそう」、「おとなのSOSの出し方」の内容で実施。(※対象は全町民) ・栄養教室(3回、平成会館、三ツ屋老人憩の家、新町集会所)で「りんご酢を活用した長生きみそ汁効用と実践」の内容で実施。 【今後の取組・方針】 今後も地域をとおして健康づくり事業を広げていく。						
	R2	R3	R4	R5	R6							
事業費(千円)	60	60	40	60	60							
国・県支出金	30	30	20	30	30							
地方債												
その他												
一般財源	30	30	20	30	30							

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価		
健康推進員補助事業	【事業の概要】 健康推進員の運営費及び活動費に対する助成 住民一人ひとりが生涯を通じて健康で心豊かに生活できるよう健康保持増進に寄与するとともに、地域ぐるみの健康づくり体制を確立することを目的とする。 【取組内容】 健康推進員が各種健診の受診勧奨を行い、保健活動を推進するとともに、ふじさき生き生き健康体操の普及活動を実施する。	継続	R2	健康推進員会の活動を通じて、健(検)診受診率の向上、住民の健康増進を目指す。	健康推進員会員数	126人	128人	A	2	A 総合戦略に有効		
		R4-R8	R3	健康推進員会の活動を通じて、健(検)診受診率の向上、住民の健康増進を目指す。	健康推進員会員数	128人	127人	A	2	A 総合戦略に有効		
		ソフト	R4	健康推進員会の活動を通じて、健(検)診受診率の向上、住民の健康増進を目指す。	健康推進員会員数	128人	125人	A	2	A 総合戦略に有効		
		R5	健康推進員会の活動を通じて、健(検)診受診率の向上、住民の健康増進を目指す。	健康推進員会員数	127人	126人	A	2	A 総合戦略に有効			
		R6	健康推進員会の活動を通じて、健(検)診受診率の向上、住民の健康増進を目指す。	健康推進員会員数	128人							
総合計画分類:	2-6-(2) 各世代における健康づくりの推進											
総合戦略分類:	④-(2) いきいき健康づくりの推進	健康係	R7									
事業費(千円)			【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)				庁内ヒアリング結果(経営戦略課)		総合計画審議会コメント		総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)
年度	前期基本計画		後期基本計画			【実績・効果】 各種健診の周知や勧奨を通じて、保健事業の推進に寄与した。また町内会との協力により活動の幅を広げつつある。 ふじさき生き生きけんこう体操の普及(冬のたいそう教室) 実施回数:14回 参加者数:98名(延べ314名)						
	R2	R3	R4	R5	R6	【今後の取組・方針】 現任の健康推進員と退任後の会員が、会の活動に賛同し自主的に活動を実施することで、地域ぐるみの健康づくり体制整備・地域のリーダー育成を目指す。						
事業費(千円)	355	355	355	355	355							
国・県支出金												
地方債												
その他												
一般財源	355	355	355	355	355							

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価		
町食生活改善推進員会補助事業	総合計画分類: 2-6-(2) 各世代における健康づくりの推進 総合戦略分類: ④-(2) いきいき健康づくりの推進	町食生活改善推進員会への助成 地域住民に対し組織的、継続的に健康づくり活動を行う。	継続	R2	食生活改善推進員の活動を通じて、健康増進意識の向上を目指す。	食生活改善推進員数	40人	31人	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
			R4-R8	R3	食生活改善推進員の活動を通じて、健康増進意識の向上を目指す。	食生活改善推進員数	31人	20人	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
			ソフト	R4	食生活改善推進員の活動を通じて、健康増進意識の向上を目指す。	食生活改善推進員数	20人	20人	A	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
			R5	食生活改善推進員の活動を通じて、健康増進意識の向上を目指す。	食生活改善推進員数	18人	18人	A	2	B 総合戦略にわずかだが有効		
			健康係	R6	食生活改善推進員の活動を通じて、健康増進意識の向上を目指す。	食生活改善推進員数	18人					
			R7									
事業費(千円)			【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)		総合計画審議会コメント		総合戦略会議コメント		外部評価を受けた対応(担当課)
年度	前期基本計画		後期基本計画			【実績・効果】 食育活動や一般対象の栄養教室等食生活改善を通して健康増進に寄与した。R5年度末2名退会、R6年度養成講座を実施。						
	R2	R3	R4	R5	R6							
事業費(千円)	133	133	133	133	133	【今後の取組・方針】 地域の健康づくりのリーダーでもあるが、会員の高齢化が課題となっている。しかし、食生活に対する関心が高まってきていることから、今後も若い世代の会員の育成をはかりながら継続して事業を行っていく。今後も養成講座実施を3年に1回程度開催予定。						
国・県支出金												
地方債												
その他												
一般財源	133	133	133	133	133							

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価		
藤崎町チャレンジデー事業	総合計画分類: 3-5-(1) 生涯スポーツの推進 総合戦略分類: ④-(2) いきいき健康づくりの推進	【事業の概要】毎年5月最終水曜日、住民参加型のスポーツイベント 【取組内容】町民の健康づくりと体力づくりとともに、地域間連携を深めるために、チャレンジデーの日は1人1日15分の運動を行うようにする町民の健康づくり、体力づくりとともに町民の連携を深める。全国規模の事業で対戦相手もあり、交流にもつながる。	継続	R2	住民の健康づくりの意識の高揚を図る。	チャレンジデー参加率	70%	0%	E	2	A 総合戦略に有効	
			R4-R8	R3	住民の健康づくりの意識の高揚を図る。	チャレンジデー参加率	70%	0%	E	2	A 総合戦略に有効	
			ソフト	R4	住民の健康づくりの意識の高揚を図る。	チャレンジデー参加率	70%	71.70%	A	2	A 総合戦略に有効	
			R5	住民の健康づくりの意識の高揚を図る。	チャレンジデー参加率	70%	70.80%	A	4	A 総合戦略に有効		
			R6									
			社会教育係	R7								
事業費(千円)			【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)		総合計画審議会コメント		総合戦略会議コメント		外部評価を受けた対応(担当課)
年度	前期基本計画		後期基本計画			【実績・効果】 R3年度は新型コロナウイルス感染防止対策のため不参加となったが、R4・R5ともに参加率70%台を維持し、町民の健康づくりの意識高揚に寄与した。						
	R2	R3	R4	R5	R6	【今後の取組・方針】 チャレンジデーはR5で終了となった。						
事業費(千円)	118	0	744	744	0	後継事業として「ミニミニスポーツフェスティバル」を実施している。						
国・県支出金												
地方債												
その他	93	0	344	344	0							
一般財源	25	0	400	400	0							

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価		
NPO法人藤崎町スポーツ協会補助事業	総合計画分類: 3-5-(1) 生涯スポーツの推進 総合戦略分類: ④-(2) いきいき健康づくりの推進	【事業の概要】体育・スポーツに関する各種事業の実施、支援、啓発、指導及び奨励 【取組内容】各種スポーツイベントやスポーツ教室等を実施し、町民の健康増進を図る 体育・スポーツを振興し、町民の健康増進とスポーツ精神の高揚を図る	継続	R2	体育・スポーツ事業を実施し、町民の健康増進とスポーツ精神の高揚。	いきいきスポーツクラブ参加者数	5,400人	3,370人	B	2	A 総合戦略に有効	
			R4-R8	R3	体育・スポーツ事業を実施し、町民の健康増進とスポーツ精神の高揚。	いきいきスポーツクラブ参加者数	5,400人	2,924人	B	2	A 総合戦略に有効	
			ソフト	R4	体育・スポーツ事業を実施し、町民の健康増進とスポーツ精神の高揚。	いきいきスポーツクラブ参加者数	5,400人	3,847人	B	2	A 総合戦略に有効	
			R5	体育・スポーツ事業を実施し、町民の健康増進とスポーツ精神の高揚。	いきいきスポーツクラブ参加者数	5,400人	4,568人	B	2	A 総合戦略に有効		
			R6	体育・スポーツ事業を実施し、町民の健康増進とスポーツ精神の高揚。	いきいきスポーツクラブ参加者数	5,400人						
			社会教育係	R7								
事業費(千円)			【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)		総合計画審議会コメント		総合戦略会議コメント		外部評価を受けた対応(担当課)
年度	前期基本計画		後期基本計画			【実績・効果】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため8事業が中止となったものの、スポーツ教室等13事業を開催し、目標値には達しなかったが健康増進、スポーツ精神の高揚を図ることができた。						
	R2	R3	R4	R5	R6	【今後の取組・方針】 次年度も同様の取り組みとし、スポーツ教室のメニューを再検討し参加者の増加を目指す。						
事業費(千円)	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000							
国・県支出金												
地方債												
その他												
一般財源	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000							

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
がん検診事業	【事業概要】 死亡率が第1位であるがんの早期発見・早期治療を目指し、がん検診を行う。 【取組内容】 医療機関に委託して実施するとともに、町の集団検診を2会場で実施する。	継続	R2	各がん検診の受診率50%を目指す。	胃がん検診受診率(40歳以上)	50.0%	7.1%	D	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
		R4-R8	R3	各がん検診の受診率50%を目指す。	胃がん検診受診率(40歳以上)	50.0%	7.9%	D	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
		ソフト	R4	各がん検診の受診率50%を目指す。	胃がん検診受診率(40歳以上)	50.0%	7.1%	D	3	B 総合戦略にわずかだが有効	
			R5	各がん検診の受診率50%を目指す。	胃がん検診受診率(40歳以上)	50.0%	6.9%	D	3	B 総合戦略にわずかだが有効	
			R6	各がん検診の受診率50%を目指す。	胃がん検診受診率(40歳以上)	50.0%					
総合計画分類:	2-6-(2) 各世代における健康づくりの推進										
総合戦略分類:	④-(2) いきいき健康づくりの推進	健康係	R7								
事業費(千円)			【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)		総合計画審議会コメント		総合戦略会議コメント	
年度	前期基本計画		後期基本計画			【実績・効果】 R5年度胃がん受診率6.9%・早期治療につなげた。 ※データは「地域保健・健康増進事業報告」				【今後の取組】 国の目標値である50%を目標にがん検診受診率の向上を目指すと共に、正しい検診(精度管理)と正しい受診(PR)をし、がんの早期発見・早期治療につなげる。	
	R2	R3	R4	R5	R6					【久保田委員】 令和2~4年度の実績値について、昨年度のパッケージシートに記載されている数値から変更されている。これはどういった理由なのか。 【福祉課健康係】 令和2~4年度の実績値の測定方法に誤りがあったので、正しい方法で測定直してみた結果、実績値がこのようなになった。目標値と実績値が乖離している理由の一つとして、測定の分母には社保の方も含まれているが、社保の方が受診しているかどうかを町で把握できないというものがある。国の目標値をそのまま町の目標値としているが、町の目標値や測定方法については見直しを検討する。	
事業費(千円)	28,949	6,888	22,455	21,379	17,871						
国・県支出金											
地方債											
その他											
一般財源	28,949	6,888	22,455	21,379	17,871						

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
ふじさき健康ブランド創生スポーツ拠点整備事業	【事業概要】 旧弘前実業高校藤崎校舎体育館をスポーツ施設にリノベーションし、住民の健康増進のみならず、スポーツ健康プログラム、プロアスリートとの交流等による交流・関係人口の拡大を図り、すべての人が輝きながら活躍し、心豊かに共生する社会を目指す。 【取組内容】 旧体育館をスポーツセンターにリノベーションし、降雨・降雪時でも屋外スポーツを可能にする(人工芝・防球ネット等整備)。また、高齢者や身体障がい者の方も利用出来るよう、多目的トイレやバリアフリー化も行う。 さらに屋外の陸上グラウンド及び多目的グラウンドを整地し、スポーツセンターの利活用による健康増進と併せて相乗効果のあるスポーツスペースとして利活用する。	継続	R2								
		R4-R8	R3								
		ハード	R4	スポーツセンター及びグラウンドの利用者数 スポーツ健康プログラムの参加者数 スポーツ健康プログラムによる交流・関係人口数	0人 0人 0人						A 総合戦略に有効
		重点(活力)	R5	スポーツセンター及びグラウンドの利用者数 スポーツ健康プログラムの参加者数 スポーツ健康プログラムによる交流・関係人口数	30,000人 200人 100人	5,564名 198名 198名	B	2	A 総合戦略に有効		
			R6	スポーツセンター及びグラウンドの利用者数 スポーツ健康プログラムの参加者数 スポーツ健康プログラムによる交流・関係人口数	6,000名 250名 250名						
総合計画分類:											
総合戦略分類:	④-(2) いきいき健康づくりの推進	生涯学習課	R7								
事業費(千円)			【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)		総合計画審議会コメント		総合戦略会議コメント	
年度	前期基本計画		後期基本計画			【実績】 R4年度に工事完了。 【今後の取組】 町スポーツ協会指定管理のもと、R5年度に供用開始。				【(三上委員) 夏は利用者が少ないので、プログラムを考慮する必要がある。 冬は利用者が多いので貸館に専念して、プログラムを展開することが難しい。 【(浅瀬石委員) 体育館について、廃校活用かつネットが張られているため狭さを感じる。また、暖房設備がないため冬期間はかなり寒い。 グラウンドについては、マラソンランナーが冬期間に走る場所としての必要があると思うので、トラックに屋根をかけるなどするだけでも、利用者増が見込めるのではないかと。	
	R2	R3	R4	R5	R6					【(生涯学習課社会教育係) 生涯学習課とスポーツ協会が連携して春夏イベントを展開していきたい。 冬は屋外スポーツの練習拠点としての役割を果たしているため、事業の効果は大きいと思われる。 【(経営戦略課戦略推進係) 体育館・グラウンドそれぞれについて、関係課で協議してより良いものにしていくよう努めている。 町としてもリಂಗカカの利用者が増加することを目指しているため、大人子どものそれぞれが利用しやすくなる仕掛けを考えたい。	
事業費(千円)	0	0	102,895								
国・県支出金			51,447								
地方債											
その他											
一般財源			51,448								

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
ミニミニスポーツフェスティバル	チャレンジデーの代替イベントとして、スポーツを通じた健康づくり体力づくりのきっかけをつくる。	新規	R2								
		R4-R8	R3								
		ソフト	R4								
		重点(協働)	R5	体育・スポーツ事業を実施し、町民の健康増進とスポーツ精神の高揚。	参加者数	50人					
			R6								
総合計画分類:	3-5-(1) 生涯スポーツの推進										
総合戦略分類:	④-(2) いきいき健康づくりの推進										
事業費(千円)			【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)		総合計画審議会コメント		総合戦略会議コメント	
年度	前期基本計画		後期基本計画			【実績・効果】 フットサル、ビームライフ、モルックの3種目で参加者のべ150名 軽スポーツの普及		【(三上委員) 初めての事業だが、屋内グラウンドのPRIにもなり、スポーツや体力づくりのきっかけにもなるので、色んなスポーツに取り組んでほしい。			
	R2	R3	R4	R5	R6						
事業費(千円)					56						
国・県支出金											
地方債											
その他											
一般財源					56						

(3) 安心して暮らせる生活環境づくり

◆ 第1期指標

オールふじさき！みんなでアクション！	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	R1	R2
避難所までのルートや避難方法 地域みんなで確認！	■自主防災組織数	1団体 (H26)	5団体 (H32) ※5年で4団体増加	2団体	5団体	5団体	6団体	9団体	10団体

◆ 第1期指標達成状況に対する総括

- ・当初の目標を大幅に超える実績となり、地域の自助・共助の体制強化が図られた。
- ・より安心な生活環境を構築するため、自主防災組織育成事業を含めた総合的な施策を継続していただきたい。

◆ 第2期指標

指標	当初	目標	R2	R3	R4	R5	R6
■自主防災組織数	9団体 (R1)	14団体 ※5年で5団体増加	10団体	10団体	12団体	14団体	

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価
総合行政相談開設事業	【事業の概要】 身の回りのことで困っている人が気軽に相談できるように、総合行政相談窓口を開設し、住民が安心して生活できるように支援する。 【取組内容】 専門性を持った相談員を配置するなど心配相談所とは異なる相談体制を検討する。 【取組内容】 相談を必要とする人がより多く合同相談所を利用することができるように、相談所開設の周知徹底を図る。	継続	R2	周知を徹底し、5月と10月に相談窓口を開設する。	相談窓口開設回数	2回	1回	C	2	B 総合戦略にわずかが有効
		R4-R8	R3	周知を徹底し、5月と10月に相談窓口を開設する。	相談窓口開設回数	2回	2回	A	2	A 総合戦略に有効
		ソフト	R4	周知を徹底し、5月と10月に相談窓口を開設する。	相談窓口開設回数	2回	2回	A	2	A 総合戦略に有効
			R5	周知を徹底し、5月と11月に相談窓口を開設する。	相談窓口開設回数	2回	2回	A	2	A 総合戦略に有効
			R6	周知を徹底し、5月と11月に相談窓口を開設する。	相談窓口開設回数	2回				
		行政係	R7							
		総合計画分類: 6-1-(3) 人権相談体制の充実	総合戦略分類: ④-(3) 安心して暮らせる生活環境づくり							
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)		
年度	前期基本計画	後期基本計画				【実績・効果】 計画していた年2回の相談窓口開設を行った。 令和5年度相談件数…5月:1件、10月:2件 【今後の取組・方針】 住民の相談する機会を確保するため、年2回の合同相談事業を今後も継続する。				
	R2	R3	R4	R5	R6					
事業費(千円)	22	22	22	21	22					
国・県支出金										
地方債										
その他										
一般財源	22	22	22	21	22					

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価
防災訓練事業	【事業の概要】 町民の防災意識向上のために、全町的に防災訓練を実施する。 また、地域での自主的な防災訓練の実施を促進する。 【取組内容】 防災訓練を実施し、町民の防災意識を向上させる。	継続	R2	町防災訓練の実施(年1回)、自主防災組織独自の訓練実施による防災意識の向上	防災訓練参加者数	100人	150人	A	2	B 総合戦略にわずかが有効
		R4-R8	R3	町防災訓練の実施(年1回)、自主防災組織独自の訓練実施による防災意識の向上	防災訓練参加者数	30人	111人	B	2	A 総合戦略に有効
		ソフト	R4	町防災訓練の実施(年1回)、自主防災組織独自の訓練実施による防災意識の向上	防災訓練参加者数	720人	0人	D	2	A 総合戦略に有効
			R5	町防災訓練の実施(年1回)、自主防災組織独自の訓練実施による防災意識の向上	防災訓練参加者数	200人	214人	A	2	A 総合戦略に有効
			R6	町防災訓練の実施(年1回)、自主防災組織独自の訓練実施による防災意識の向上	防災訓練参加者数	200人				
		防災係	R7							
		総合計画分類: 4-1-(2) 地域防災力の強化	総合戦略分類: ④-(3) 安心して暮らせる生活環境づくり							
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)		
年度	前期基本計画	後期基本計画				【実績・効果】 各種災害を想定した実動訓練を実施。 【今後の取組・方針】 町内会、自主防災組織、消防団等と連携して、町防災訓練事業(実動訓練)を実施。				
	R2	R3	R4	R5	R6					
事業費(千円)	0	0	0	150	150					
国・県支出金										
地方債										
その他										
一般財源	0	0	0	150	150					

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価
自主防災組織育成事業	【事業の概要】 町民の防災意識を向上させるとともに、地域防災力の向上を図るため町内会等を主体とした自主防災組織の確立を目指す。 ※育成事業費補助 上限50,000円 【取組内容】 地域住民の防災意識の向上はもとより、地域コミュニティの連携強化を図るため、自主防災組織の整備を促進する。	継続	R2	自主防災組織の新規結成(2組織)、及び活動支援	自主防災組織数	11団体	10団体	B	2	B 総合戦略にわずかが有効
		R4-R8	R3	自主防災組織の新規結成(2組織)、及び活動支援	自主防災組織数	12団体	10団体	C	2	B 総合戦略にわずかが有効
		ソフト	R4	自主防災組織の新規結成(2組織)、及び活動支援	自主防災組織数	12団体	12団体	A	2	A 総合戦略に有効
		重点(協働)	R5	自主防災組織の新規結成(2組織)、及び活動支援	自主防災組織数	14団体	14団体	A	2	A 総合戦略に有効
			R6	自主防災組織の新規結成(2組織)、及び活動支援	自主防災組織数	16団体				
		防災係	R7							
		総合計画分類: 4-1-(2) 地域防災力の強化	総合戦略分類: ④-(3) 安心して暮らせる生活環境づくり							
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)		
年度	前期基本計画	後期基本計画				【実績・効果】 コロナがあげ、徐々に自主防災組織が活動できるようになった。 【今後の取組・方針】 新たな自主防災組織設立に向け町内会等への活動支援を強化。設立後の自主防災組織の活動支援の強化。	今年度は2組織(藤越・亀岡)の新規結成を目標としている。 藤越地区は結成済。			
	R2	R3	R4	R5	R6					
事業費(千円)	170	100	0	600	800					
国・県支出金										
地方債										
その他										
一般財源	170	100	0	600	800					

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
避難行動要支援者支援事業	【事業の概要】 地域防災計画において、避難行動要支援者名簿を活用し、災害時の避難支援体制の充実を図る。また、一般の避難所に対処できない障がい者などの方を避難させる福祉避難所の運営マニュアルを活用し、非常時に迅速に対応できる体制作りを進める。 【取組内容】 避難行動要支援者名簿の作成及び行動計画等の周知、福祉避難所との連携強化による災害時の即応力を強化する。	継続	R2	避難行動要支援者名簿の協力者への提供。福祉避難所に係る避難訓練の実施。	避難行動要支援者名簿登録者のうち支援希望者数	380人	306人	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
		R4-R8	R3	避難行動要支援者名簿の協力者への提供。福祉避難所に係る避難訓練の実施。	避難行動要支援者名簿登録者のうち支援希望者数	380人	297人	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
		ソフト	R4	避難行動要支援者名簿の協力者への提供。福祉避難所に係る避難訓練の実施。	避難行動要支援者名簿登録者のうち支援希望者数	380人	270人	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
			R5	避難行動要支援者名簿の協力者への提供。福祉避難所に係る避難訓練の実施。	避難行動要支援者名簿登録者のうち支援希望者数	380人	254人	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
			R6	避難行動要支援者名簿の協力者への提供。福祉避難所に係る避難訓練の実施。	避難行動要支援者名簿登録者のうち支援希望者数	380人					
		福祉係	R7								
		総合計画分類:	4-1-(3) 避難行動要支援者の避難支援体制の整備								
総合戦略分類:	④-(3) 安心して暮らせる生活環境づくり										
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)			
年度	前期基本計画	後期基本計画				【実績・効果】 希望町内会等に臨機に説明を行い、随時名簿提供を行った。啓蒙普及につとめるため、支援マニュアルを障害者手帳交付時等に配布した。 ※名簿作成済み48町内中、18町内が避難者支援可能。					
	R2	R3	R4	R5	R6	【今後の取組・方針】 継続して啓蒙普及につとめ、町内会等を通じ名簿提供範囲を広げていく。 継続して福祉避難所に係る訓練を行う。					
事業費(千円)	0	0	0	0	0						
国・県支出金	0	0	0	0	0						
地方債	0	0	0	0	0						
その他	0	0	0	0	0						
一般財源	0	0	0	0	0						

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
防犯パトロール強化事業	【事業の概要】 防犯協会、防犯指導隊を中心として、防犯強化に努め安心安全な町を目指す。 【取組内容】 各種防犯大会への参加やイベント時の周辺パトロール、地域への巡回活動を実施する。	継続	R2	盗難防止パトロール等の地域巡回活動、啓発看板の設置	地域防犯パトロール回数	16回	13回	A	2	A 総合戦略に有効	
		R4-R8	R3	盗難防止パトロール等の地域巡回活動、啓発看板の設置	地域防犯パトロール回数	16回	13回	A	2	A 総合戦略に有効	
		ソフト	R4	盗難防止パトロール等の地域巡回活動、啓発看板の設置	地域防犯パトロール回数	16回	13回	A	2	A 総合戦略に有効	
			R5	盗難防止パトロール等の地域巡回活動、啓発看板の設置	地域防犯パトロール回数	16回	13回	A	2	A 総合戦略に有効	
			R6	盗難防止パトロール等の地域巡回活動、啓発看板の設置	地域防犯パトロール回数	16回					
		防災係	R7								
		総合計画分類:	4-2-(2) 効果的な交通安全施設の整備								
総合戦略分類:	④-(3) 安心して暮らせる生活環境づくり										
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)			
年度	前期基本計画	後期基本計画				【実績・効果】 各種防犯大会への参加やイベント時の周辺パトロール、地域の巡回活動を実施。					
	R2	R3	R4	R5	R6	【今後の取組・方針】 今後も防犯活動を継続展開する。					
費(千円)	230	230	218	230	230						
国・県支出金											
地方債											
その他											
一般財源	230	230	218	230	230						

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
交通安全推進事業	【事業の概要】 交通安全協会、交通安全母の会を主体とした事業を展開し、交通安全意識の高揚と交通事故防止を図る。 【取組内容】 交通安全教室等の開催により、交通事故件数を減少させる。	継続	R2	交通安全教室や街頭指導を行い、交通事故防止に努める	交通事故件数	50件	43件	A	2	A 総合戦略に有効	
		R4-R8	R3	交通安全教室や街頭指導を行い、交通事故防止に努める	交通事故件数	50件	28件	A	2	A 総合戦略に有効	
		ソフト	R4	交通安全教室や街頭指導を行い、交通事故防止に努める	交通事故件数	39件	23件	A	2	A 総合戦略に有効	
			R5	交通安全教室や街頭指導を行い、交通事故防止に努める	交通事故件数	36件	34件	A	2	A 総合戦略に有効	
			R6	交通安全教室や街頭指導を行い、交通事故防止に努める	交通事故件数	36件					
		防災係	R7								
		総合計画分類:	4-2-(1) 交通安全活動の推進								
総合戦略分類:	④-(3) 安心して暮らせる生活環境づくり										
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)			
年度	前期基本計画	後期基本計画				【実績・効果】 各種交通安全事業等へ積極的に参加。保育所(園)、小中学校で交通安全教室を実施。(弘前交通安全協会藤崎支部及び藤崎町交通安全母の会への補助)					
	R2	R3	R4	R5	R6	【今後の取組・方針】 今後も交通事故抑止運動を継続展開する。					
事業費(千円)	400	360	330	400	400						
国・県支出金											
地方債											
その他											
一般財源	400	360	330	400	400						

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
橋梁長寿命化事業	【事業概要】 橋梁について点検・調査を行い計画的な補修事業を進め、安全な交通を確保する。 【取組内容】 町内に架かる橋を計画的に点検・補修工事を行い、町民の安全を確保する。	継続	R2		長寿命化修繕計画で補修が必要な橋梁数	21ヶ所	20ヶ所	A	2	A 総合戦略に有効	
		R4-R8	R3		長寿命化修繕計画で補修が必要な橋梁数	20ヶ所	20ヶ所	A	2	A 総合戦略に有効	
		ハード	R4		橋梁長寿命化修繕計画策定 N=64橋	64橋	64橋	A	2	A 総合戦略に有効	
			R5								
			R6								
			R7								
		建設係									
総合計画分類:											
総合戦略分類:	④-(3) 安心して暮らせる生活環境づくり										
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)			
年度	前期基本計画	後期基本計画									
	R2	R3	R4	R5	R6						
事業費(千円)	0	0	18,304	0	0						
国・県支出金			11,174								
地方債											
その他											
一般財源			7,130								

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
消費生活相談体制整備事業	消費生活相談体制として、弘前市市民生活センターとの広域連携による相談体制を維持しながら、消費者安全確保地域協議会と連携し、消費生活に関する専門的で円滑な相談体制を整備する。	新規	R2	町相談窓口紹介ネットワークと連携し情報共有を図る。制度周知等について広報紙に2回、ホームページに4回掲載する。	広報等での周知回数	広報2回、HP4回	広報2回、HP4回	A	2	A 総合戦略に有効	
		R4-R8	R3	町相談窓口紹介ネットワークと連携し情報共有を図る。制度周知等について広報紙に2回、ホームページに4回掲載する。	広報等での周知回数	広報2回、HP4回	広報2回、HP3回	A	2	A 総合戦略に有効	
		ソフト	R4	町相談窓口紹介ネットワークと連携し情報共有を図る。制度周知等について広報紙に2回、ホームページに4回掲載する。	広報等での周知回数	広報2回、HP4回	広報2回、HP2回	B	2	A 総合戦略に有効	
			R5	町相談窓口紹介ネットワークと連携し情報共有を図る。制度周知等について広報紙に2回、ホームページに4回掲載する。	広報等での周知回数	広報2回、HP4回	広報2回、HP2回	B	2	A 総合戦略に有効	
			R6	町相談窓口紹介ネットワークと連携し情報共有を図る。制度周知等について広報紙に2回、ホームページに4回掲載する。	広報等での周知回数	広報2回、HP4回					
			R7								
		企画調整係									
総合計画分類:	4-3-(1) 消費生活対策の強化										
総合戦略分類:	④-(3) 安心して暮らせる生活環境づくり										
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)			
年度	前期基本計画	後期基本計画									
	R2	R3	R4	R5	R6						
事業費(千円)	276	276	325	354	419						
国・県支出金	44	44	44	44	44						
地方債											
その他											
一般財源	232	232	281	310	375						

(4) 快適で住みやすいまちづくり

◆ 第1期指標

オールふじさき！みんなでアクション！	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	R1	R2
まちの豊かな自然や雄大な景観 みんなでもっと自慢しよう！	■資源ごみ回収量	309t (H26)	340t (H32) ※5年で10%増加	178t	164t	137t	119t	139t	109t
※資源ごみ回収補助金の単価減 H26年度：4円/kg → H27年度：3円/kg → H28年度：2円/kg									

◆ 第1期指標達成状況に対する総括

- ・当初の数値から大幅に減少しており、住民ぐるみの環境政策が後退している。
- ・ごみ減量や循環型社会構築などを含む関係施策の実施を効果的に行って、より良い環境づくりに結びつけていただきたい。

◆ 第2期指標

指標	当初	目標	R2	R3	R4	R5	R6
■1人1日当たりのごみ排出量	992g (R1)	962g (R6) ※5年で30g減量	966g	971g	934g	896g	

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
巡回バス等交通ネットワーク再構築事業	【事業の概要】 少子高齢化の進行に伴い、買物弱者などの増加が想定されることから、町巡回バスについて、現状の利用状況や地域住民ニーズ等を整理し、問題点や課題を把握することで、町巡回バス等の交通ネットワークを再構築する。 【取組内容】 公共施設巡回バスの現状と利用状況を把握する調査をし、より良い運行方法を検討。さらに鉄道等の公共交通との連携等、利便性を高める。	継続	R2		町巡回バスの利用者数	25,250人	23,051人	B	1	B 総合戦略にわずかだが有効	
			R3		町巡回バスの利用者数	25,250人	21,121人	B	2	A 総合戦略に有効	
			R4		町巡回バスの利用者数	25,250人	19,893人	B	2	A 総合戦略に有効	
			R5		町巡回バスの利用者数	25,250人	20,362人	B	2	A 総合戦略に有効	
			R6		町巡回バスの利用者数	25,250人					
総合計画分類:											
総合戦略分類:	④-(4) 快適で住みやすいまちづくり										
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】(担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)			
年度	前期基本計画	後期基本計画				【実績・効果】 新型コロナウイルス感染症の影響が一区切りし、利用者数は回復基調になってきている。 【今後の取組・方針】 利用者からの要望に対して柔軟に対応を検討しながら、利便性の向上を図っていく。巡回バスは、自力移動手段のない住民にとっての重要な生活の足になっていることもあるため、可能な限り運行を継続していくようにする。		(三上委員) 今後さらに必要になってくると思うので、利用しやすいルートや時間を検討する必要がある。	(総務課庶務係) 限られたバスの台数で効率的に町内を循環できるように考慮してルート設定に取り組んでいるところです。さらに利便性の高まるルートや時間の設定について、具体的なご提案や要望があれば意見を寄せてください。一定の利用者が見込まれる説得力のある内容であるほど、次回の改編に取り入れやすくなります。		
	R2	R3	R4	R5	R6						
事業費(千円)	7,945	8,966	7,548	8,741	9,198						
国・県支出金											
地方債											
その他											
一般財源	7,945	8,966	7,548	8,741	9,198						

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
福祉バス運行事業	【事業の概要】 社会福祉関係団体の活動促進と地域住民の福祉向上を図るため、福祉バス運行業務を実施する。 【取組内容】 老人クラブや保育所等の各種団体に利用されており、冬期間の温泉送迎としても有効に活用している。	継続	R2		福祉バス利用回数	150回	64回	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
			R3		福祉バス利用回数	150回	112回	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
			R4		福祉バス利用回数	150回	92回	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
			R5		福祉バス利用回数	150回	115回	B	1	B 総合戦略にわずかだが有効	
			R6		福祉バス利用回数	150回					
総合計画分類:											
総合戦略分類:	④-(4) 快適で住みやすいまちづくり										
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】(担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)			
年度	参考					【実績・効果】 地域の福祉活動の拠点となっている。 【今後の取組・方針】 今後も地域福祉の増進のために、中心的な役割を担ってもらう。令和6年度より医療機関経由巡回バスを週3回運行している。					
	R2	R3	R4	R5	R6						
事業費(千円)	5,999	4,142	4,372	4,582	6,595						
国・県支出金											
地方債											
その他											
一般財源	5,999	4,142	4,372	4,582	6,595						

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
地球温暖化対策事業	【事業の概要】 庁内における温室効果ガスの排出量削減目標を定め実践するとともに、広報紙及びホームページで地球温暖化防止をPRする。 【取組内容】 役場公用車のガソリン使用量、役場庁舎の光熱水費等の抑制により、温室効果ガスの排出量を削減する。	継続	R2	庁内削減率基準年度比5%以上とPR	町の事務事業における二酸化炭素排出量 ※削減目標	1,757,363kg-co2	1,821,814kg-co2	B	2	A 総合戦略に有効	
			R4-R8	庁内削減率基準年度比5%以上とPR	町の事務事業における二酸化炭素排出量 ※削減目標	1,730,723kg-co2	1,849,083kg-co2	B	2	A 総合戦略に有効	
		ソフト	R4	庁内削減率基準年度比5%以上とPR	町の事務事業における二酸化炭素排出量 ※削減目標	1,730,723kg-co2	1,859,742kg-co2	B	2	A 総合戦略に有効	
		重点(協働)	R5	庁内削減率基準年度比5%以上とPR	町の事務事業における二酸化炭素排出量 ※削減目標	1,730,723kg-co2	1,866,513kg-co2	B	2	A 総合戦略に有効	
		重点(協働)	R6	庁内削減率基準年度比5%以上とPR	町の事務事業における二酸化炭素排出量 ※削減目標	1,730,723kg-co2					
環境係	R7										
総合計画分類:	5-1-(2) 暮らしにおける脱炭素社会の実現										
総合戦略分類:	④-(4) 快適で住みやすいまちづくり										
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】(担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)			
年度	前期基本計画	後期基本計画				【実績・効果】 各課の協力により電気の使用量が減少したが、その他の項目が基準年度を上回り、全体で2.5%の増となった。町民に対しては、ホームページにより周知した。 【今後の取組・方針等】 第4次藤崎町地球温暖化防止対策実行計画(令和3年度から7年度まで)の新たな計画期間としてスタートし、基準年度である令和2年度より二酸化炭素排出量5%削減を目指す。また、町公用車の電動化などとしたゼロカーボン化を含めて、地球温暖化防止対策実行計画推進委員会等で施策を検討し、引き続き省エネ対策を継続する。その他、町民に対しては町ホームページや広報紙により普及・啓発を行う。	その他の項目、とは、ガソリンや重油等。				
	R2	R3	R4	R5	R6						
事業費(千円)	0	0	0	0	0						
国・県支出金											
地方債											
その他											
一般財源											

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
汚泥コンポスト化推進事業	【事業概要】 各家庭等からの生活排水を処理した汚泥を有効活用し、汚泥発酵肥料として農地還元リサイクル事業を推進する。 【取組内容】 汚泥収集運搬・脱水し、汚泥肥料を製造する。	継続	R2	秋まつりにおいて無料配布 15kg 200袋 3kg 600袋	汚泥コンポスト化率	100%	100%	A	2	A 総合戦略に有効	
		R4-R8	R3	秋まつりにおいて無料配布 15kg 200袋 3kg 600袋	汚泥コンポスト化率	100%	100%	A	2	A 総合戦略に有効	
		ハード	R4	秋まつりにおいて無料配布 15kg 200袋 3kg 600袋	汚泥コンポスト化率	100%	100%	A	2	A 総合戦略に有効	
		重点(活力)	R5	秋まつりにおいて無料配布 15kg 200袋 3kg 600袋	汚泥コンポスト化率	100%	100%	A	2	A 総合戦略に有効	
		R6	秋まつりにおいて無料配布 3kg 1000袋、花いっぱい運動15kg 100袋	汚泥コンポスト化率	100%						
工務施設係	R7										
総合計画分類: 5-4-(4) 資源循環型社会の推進											
総合戦略分類: ④-(4) 快適で住みやすいまちづくり											
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)			
年度	前期基本計画	後期基本計画				【実績・効果】 汚泥のコンポスト化率を100%達成した。その成果物である汚泥肥料については、秋まつりや花いっぱい運動、食彩テラスのイベントにおいて、無料配布を実施し、農地還元リサイクル事業を推進した。 【今後の取組・方針等】 引き続き事業を継続する。					
	R2	R3	R4	R5	R6						
事業費(千円)	6,819	9,767	8,117	10,579	10,447						
国・県支出金											
地方債											
その他											
一般財源	6,819	9,767	8,117	10,579	10,447						

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
ごみ減量分別事業	【事業の概要】 ごみの減量化や分別を徹底し、ごみ処理経費の削減を図る。 【取組内容】 広報等を活用し、分別への協力及び排出方法の指導を実施する。また、小型家電の分別も行う。	継続	R2	町民一人当たりごみ排出量年間300kg以下	町民一人1日当たりのごみ排出量 ※削減目標	980g	966g	A	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
		R4-R8	R3	町民一人当たりごみ排出量年間300kg以下	町民一人1日当たりのごみ排出量 ※削減目標	980g	971g	A	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
		ソフト	R4	町民一人当たりごみ排出量年間300kg以下	町民一人1日当たりのごみ排出量 ※削減目標	940g	934g	A	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
		重点(協働)	R5	町民一人当たりごみ排出量年間300kg以下	町民一人1日当たりのごみ排出量 ※削減目標	940g	896g	A	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
		R6	町民一人当たりごみ排出量年間300kg以下	町民一人1日当たりのごみ排出量 ※削減目標	940g						
環境係	R7										
総合計画分類: 5-4-(2) ごみ減量化・リサイクルの促進											
総合戦略分類: ④-(4) 快適で住みやすいまちづくり											
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】 (担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)			
年度	前期基本計画	後期基本計画				【実績・効果】 分別収集に対する現地指導及び問い合わせに対する支援を行った。 【今後の取組・方針等】 広報や町ホームページでの周知啓発と分別排出方法の現地指導強化を図る。 ※R6目標値は、県目標値に合わせ令和7年度が最終目標					
	R2	R3	R4	R5	R6						
事業費(千円)	0	0	0	0							
国・県支出金											
地方債											
その他											
一般財源											

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
資源物回収事業	【事業の概要】 3R運動を推進し、地域ぐるみで資源物回収活動を実施する。 【取組内容】 資源物を資源として活用するため、資源物の回収について、今後も周知・啓発を図る。	継続	R2	資源物回収量年間260t以上	資源物回収率	12.6%	10.7%	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
		R4-R8	R3	資源物回収量年間260t以上	資源物回収率	12.6%	10.2%	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
		ソフト	R4	資源物回収量年間260t以上	資源物回収率	17.0%	11.1%	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
		重点(協働)	R5	資源物回収量年間260t以上	資源物回収率	17.0%	12.8%	B	2	B 総合戦略にわずかだが有効	
		重点(協働)	R6	資源物回収量年間260t以上	資源物回収率	17.0%					
		環境係	R7								
総合計画分類:	5-4-(4) 資源循環型社会の推進										
総合戦略分類:	④-(4) 快適で住みやすいまちづくり										
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】(担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)			
年度	前期基本計画			後期基本計画		【実績・効果】 広報等を活用し、資源ごみの回収方法や再利用の流れ等の周知啓発と指導・支援を行った。					
	R1	R2	R3	R4	R5	【今後の取組・方針等】 今後も広報等を活用した周知啓発を図るとともに指導・支援における活動を実施する。 ※資源ごみ回収率=(集団回収+委託回収)/ごみ総排出量 (資源ごみ回収率11.08%=(資源回収量(436.6+103)539.6t÷ごみ総排出量4867.1t) ※R5目標値は、県目標値に合わせ令和7年度が最終目標					
事業費(千円)	0	0	0	0	0						
国・県支出金											
地方債											
その他											
一般財源											

事業名	事業概要・取組内容	事業区分	年度	総合計画の目標	総合戦略の重要業績評価指標 KPI	目標値	実績値	達成度(事業効果)	今後の方針	総合戦略会議事業評価	
人口ビジョン及び総合戦略事業	【事業概要】町の人口の将来展望を示す人口ビジョンを踏まえ、人口減少克服・地方創生を実現するため、自立性、将来性、地域性、直接性及び結果重視の5つの政策原則に基づく総合戦略を平成27年度に策定し、策定後は各施策の効果検証を行う。 【取組内容】平成27年10月に人口ビジョン及び総合戦略を策定し、平成28年度から本格的な地方創生推進事業を展開するとともに、効果検証を行う。	継続	R2	事業効果がA~Cの割合 80%	事業効果がA~Cの割合	80%	96.51%	A	2	A 総合戦略に有効	
		R4-R8	R3	事業効果がA~Cの割合 80%	事業効果がA~Cの割合	80%	82.35%	A	2	A 総合戦略に有効	
		ソフト	R4	事業効果がA~Cの割合 80%	事業効果がA~Cの割合	80%	87.18%	A	2	A 総合戦略に有効	
		重点(活力)	R5	事業効果がA~Cの割合 80%	事業効果がA~Cの割合	80%	87.21%	A	2	A 総合戦略に有効	
		戦略推進係	R6	事業効果がA~Cの割合 80%	事業効果がA~Cの割合	80%					
		R7									
総合計画分類:	6-5-(2) 行政サービスの質の向上										
総合戦略分類:	④-(4) 快適で住みやすいまちづくり										
事業費(千円)		【実績・効果】【今後の取組・方針等】(担当課)			庁内ヒアリング結果(経営戦略課)	総合計画審議会コメント	総合戦略会議コメント	外部評価を受けた対応(担当課)			
年度	前期基本計画			後期基本計画		【実績・効果】 コロナが収束し始め、様々な事業が再開し始めたため、前年度を上回る実績値となった。					
	R2	R3	R4	R5	R6	【今後の方針】 引き続き年度ごとに実績を検証し、PDCAサイクルを実施していく。 今年度は人口ビジョン・総合戦略ともに改訂することとなるので、事業やKPIの見直し等を検討する。 ※実績値は、前年度の総合戦略パッケージに掲げる事業の達成度による。					
事業費(千円)	0	0	0	0	6,674						
国・県支出金											
地方債											
その他											
一般財源					6,674						